

(1) 人との関わりが深い自然環境の保全

【取り組みの方向性(目標)】

- 森林の保全
地域による森林整備の取り組み等により、水源かん養機能や景観維持等、森林が有する多様な環境機能の保全を目指します。
- 農地の保全
農地が農地として持続的に利用されるような取り組みにより、農地の多面的な環境機能(保水機能や生物の生息環境、田園景観の重要な構成要素等)の保全を目指します。
- 海の保全
水産資源の持続的な活用を図りながら、自然環境としての里海の保全を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【農業委員会】 農地パトロール(利用状況調査)事業	農地法に基づき全農地について利用状況調査を行いました。		引き続き、全農地について利用状況調査を行うと共に遊休農地については利用意向調査を行います。 ○利用状況調査の期間 平成27年7月～12月 ○利用意向調査の期間 平成28年1月～2月
2		【農林水産課】 環境保全型農業直接支払対策事業等	○エコファーマー制度 H26年度新規認定件数:10件 対象面積:12,395a ○環境保全型農業直接支払対策事業 H26年度交付金対象者数:21件 対象面積:13,871a	引き続き事業を行い、環境に配慮した農業への取り組みを支援します。	○エコファーマー制度 持続性の高い農業生産方式(たい肥等による土づくりと化学肥料、化学農薬の低減を一体的に行いながらも、生産量や品質は水準を維持し、より良い営農環境を保っていくための生産方式)の導入計画を作成した農業者を認定します。 ○環境保全型農業直接支払対策事業 エコファーマーで、地球温暖化防止活動等の環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者等又は有機農業者による販売を目的とした活動に対して支援します。
3		【農林水産課】 農林水産物販路拡大推進事業	○推奨マーク使用者及び地産地消応援店の認定実績 ブランド推奨マーク使用者 5件 累計50件 地産地消応援店 2件 累計39件 平成26年度末78店(者) ○インターネット販路拡大事業 H26年度交付金対象者数:4件 ○参加イベント一覧 ・春の園芸まつり2014(園芸センター) 4月26日(土)4月27日(日) 出店数:12店 ・カーポラボ企画「東広島市PR隊」(広島市民球場) 7月5日(土) 出店数:2店 ・黒瀬ふれあい夏祭り(黒瀬生涯学習センター周辺) 7月26日(土) 出店数:2店 ・河内リバーサイドフェスティバル(棕梨川河川敷) 7月27日(日) 出店数:1店 ・どまんか豊栄へつまつり(豊栄ふれあいグラウンド) 8月2日(土) 出店数:2店 ・2014シャープサマーフェスティバル(シャープ本部) 8月2日(土) 出店数:4店 ・アンデルセン小谷SA地域物産展(小谷SA(上り線)) 8月9日(土)8月10日(日) 出店数:3店 ・カーポラボ企画「広島臨空広域都市圏PR隊」(広島市民球場) 9月20日(土) 出店数:1店 ・アクアフェスタin福富(道の駅湖畔の里福富) 10月4日(土)10月5日(日) 出店数:1店 ・ひろしまフードフェスティバル(広島城周辺、広島中央公園) 10月25日(土)10月26日(日) 出店数:8店 ・火とグルメの祭典あきつフェスティバル(安芸津市民グラウンド) 10月25日(土)10月26日(日) 出店数:3店 ・広島大学ホームカミングデー(広島大学東広島キャンパス) 11月1日(土) 出店数:9店 ・第24回東広島市生涯学習フェスティバル(運動公園体育館) 11月1日(土)11月2日(日) 出店数:3店 ・第13回ビジネスフェア中四国2015(広島市中小企業会館総合展示館) 2月6日(金)2月7日(土) 出店数:2店 ・春の西条醸華町まつり(JR西条駅周辺) 3月7日(土) 出店数:10店	引き続き事業を行い、農業者の所得向上に繋がる取り組みを行います。	○東広島ブランド推奨マーク(ゆめまる)による地産地消の推進及び販路拡大を行います。 ○インターネットを活用した農林水産物の販路拡大事業とイベント参加による地産地消の推進を行います。 ○スーパーでの東広島産農林水産物のPR及び販路拡大を行います。
4	【農林水産課】 漁場環境保全創造事業(海底清掃)	当事業は、3ヶ年計画の最終年度で、この海底清掃により、底引きによる海底ごみの撤去により、「ヒトデ」など外敵となる生物も、ゴミとして回収したため、「ヒトデ」の餌となっていた「エビ」が、昨年度までの2年間で、かなり増え、本事業に携わった漁協も夏から秋にかけて実施する「エビこぎ網漁」の漁期が、12月頃まで延びました。この現象は、海底ごみの量が3年目は減ったが、海底の堆積層(ヘドロ)をかく乱したことで、酸素が海底に供給されたことにより、漁獲量が増えたものと推測します。この海底清掃により「エビ」の捕獲量が増えたことは事実であることから、この事業による一定の成果はあったものと考えており、今後もこの状況が長く継続することを期待しております。	この事業を同海域で実施する場合、5年以上の期間をあげる必要があるため、今後は漁獲量を勘案しながら、漁場環境の変化に対応していきたいと考えております。また、漁業者の高齢化に伴い、担い手育成が必要であるため、儲かる漁業へと転換するための新たな施策が急務と考えております。(※今のところ打開策は未定)	実施予定はありません。	
5	【農林水産課】 間伐材等利用可能性調査業務			○山林等からの材搬出のシステムづくり(自伐林家の養成等) ○木質バイオマス(ペレットやまき、菌床、堆肥化等)の有効活用に係る仕組みの構築 ○山林から排出される材の需要と供給	○取組方針 市内の森林資源量及び活用手法等の可能性調査を行うとともに、森林所有者自らが伐採、搬出、出荷する「自伐林家」を養成し、間伐材等を活用していきます。 ○実施内容等 委託により、次の調査項目等を実施します。 ・木質バイオマス利活用動向調査 ・森林資源量調査 ・木質バイオマス燃料化可能性調査 ・木質バイオマス需要動向調査 ・自伐林家養成研修
6	市民	【団体会員】 平成26年度広島大学生物生産学部新入生オリエンテーションD AYキャンプ林野作業	森林整備(除伐作業、搬出材のチップ化作業)と指導しました。 ・開催場所:東広島市憩いの森公園 ・参加者数:学生、大学関係者151名、スタッフ12名		森林整備(除伐作業、搬出材のチップ化作業)体験の指導。スタッフは炭焼き。 ・開催場所:憩いの森公園 ・参加者数:学生、大学関係者120名、スタッフ10名
7		【個人会員】 広島大学生物生産学部Dayキャンプ			西条山と水の環境機構の運営委員として事務局事務指導を行います。 ・開催場所:憩いの森公園 ・参加者:広島大学生物生産学部1年生とスタッフ(約200名)
8		【団体】 長寿の森里山整備	八本松町吉川の長寿の森で間伐作業などの里山整備を行っており、賀茂地方森林組合による間伐作業指導、セブンイレブンによる企業の森としての植樹が行われました。 長寿の森のため池周辺には、桜が植えられており、春には桜まつりが行われるなど、地域住民の憩いの場になっています。		
9		【団体】 里山整備	シャープ(株)と地区住民と一緒に植林や間伐などの里山整備を行いました。 ・参加者:シャープ(株)・地区住民		

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
10	市民	【団体会員】 里山の保存再生	竹林・雑木林の整備、薪や蔓(つる)がごづくりワークショップなど楽しみながら活動しました。		
11		【団体】 板鍋山林道整備	板鍋山の林道の草刈りや清掃、もみじや桜の植樹などを行い、板鍋山の林道整備を進めました。春は桜、秋は綺麗に色づいた紅葉を見ながら登山をすることができます。		
12		【団体会員】 つつじの里づくり	福富町に自生しているつつじを保全していくために草刈りなどを行って、つつじが育ちやすい里山の環境整備をしています。つつじは東広島市の市花でもあるので、つつじの里が市民の憩いの場となるよう、市民の皆さんや地元の方々の協力を受けながら整備を進めていきたいと思っています。	今のところつつじの里づくりに多くの参加者がありますが、今後も同様に多数の方の参加を頂き福富町全域がつつじの里として認知され、それを維持管理できるような体制を徐々に作ることが課題です。	
13		【団体】 白土山遊歩道・竹林寺旧道整備	白土山の遊歩道や竹林寺の旧道において、草刈りや倒木の処理を行い、歩道整備を行いました。 ・参加者：環境保全部と各地区保全部委員		
14		【団体】 小田城跡周辺の里山整備	小田城跡周辺や登山道の草刈りを行いました。また、小田城跡跡地に見晴らしやぐらの設置や桜の植樹などを行い、小田地区を見渡せる憩いの場として整備しています。		
15		【団体】 炭焼き・原木の伐採作業・炭出し作業	炭焼き(火入れ)を実施し、山を愛する会に参加して、原木の伐採作業や、炭出し作業を行いました。		
16		【団体】 天神嶽の登山道整備	登山道の草刈りや倒木の処理を行い、市民が天神嶽を訪れやすい環境を作りました。 ・参加者：地域住民		
17		【団体】 天神嶽登山道整備	天神嶽の登山道整備を行い、市民が天神嶽を訪れやすい環境を作りました。		
18		【団体】 大迫山の遊歩道整備	西大沢のテクノタウンに隣接する大迫山(343m)の遊歩道整備を行っています。定期的な維持管理は自治協議会の環境・景観部会が中心となって行っていますが、年に1回は、多くの方が参加して、倒木の除去や草刈りなどの整備を行っています。そのおかげで、市民が歩きやすい遊歩道を維持できており、尾根筋には「高射砲の跡」など、戦争の遺跡が見られます。 山頂からは、北は鏡山・西条駅、東は広島空港、西は吉川工業団地を望むことができます。		
19		【団体】 東川沿い竹林の伐採による環境整備	志和堀中心部の東川沿いの環境整備は、桜やシバザクラの植樹が行われ、段々と整備されています。しかし、竹林が景観を害していたため、壮年会を中心に述べ105人で竹の伐採を行いました。		
20		【団体】 環境整備(シバザクラの植栽)	地域の道路沿いにある法面などにシバザクラを植栽しました。平成26年度は苗作りからチャレンジして、2m×200mの範囲に植え付けることができました。雑草対策は大変ですが、地元の自治会の方々と協力して頑張っています。		
21		【団体会員】 竹林整備・里山の手入れ	間伐や下刈りをし、里山の手入れをしました。里山づくりについてはテレビの取材を受けました。 ・実施場所：志和堀 ・参加者：28人		
22		【団体会員】 つつじの咲く里山づくり 体験版	○第1回 雨の中を後谷集会所近くの山で自生のミツバツツジに目印に赤いリボンをつけました。その後集会所で昼食、まちづくりや今後のつつじの里づくりの取り組みについて話し合いました。 ○第2回 目印のリボンのつつじの木を残しながら、低木、下草を刈りました。枯れ枝、枯れ木の掃除をし、一応、「後谷つつじ山1号」が出来上がりました。 ○第3回 激しい雨のためにつつじ山を見学後、集会所で後谷の昔の暮らし、現在、未来について話し合いました。その後昼食をとりました。 ・開催場所：後谷つつじ山、後谷集会所 ・参加者：一般市民・地元民(延べ75名)		
23		【団体】 米山城跡・柁坂城跡の整備	戦国時代以前の土塁城である米山城跡・柁坂城跡周辺の雑木や伐採の草刈りを行いました。将来にわたって地域の歴史的資産となるよう取り組んでいます。		
24		【団体】 農業体験	古代米の田植から収穫までを体験しました(収穫した古代米で餅つき、試食会)。 ・参加者：河内西小学校高学年(5年生)15名～20名		
25		【団体】 暮らしの泉「ほっと」藍染マフラーを作ろう	一休農園さんで藍から育て、刈取り、絹の生地に藍で染めつけた、自作の藍染マフラーを作りました。 ・参加者：東広島市民		
26		【団体】 地産地消フェスティバル出店	西条農業高校の畜産科の生徒が、地産地消フェスティバルで自校ブランド豚肉「SAINOポークZ」を使った商品を販売しました。また、「SAINOポークZ」を使った給食メニューを八本松中学校とコラボして考案するなど、地産地消に取り組んでいます。		
27		【団体】 進めよう地産地消	自分たちで育てた野菜を、近くのお店へ出荷し、地産地消を進めています。 ・実施者：入野小学校5年生		
28		【団体】 SAINOポークZ	西条農業高校・八本松中学校の両校がコラボレーションして、西条農業高校のブランド豚肉「SAINOポークZ」を使った商品の販売や、給食への提供を行いました。 ・実施者：西条農業高校・八本松中学校		
29		事業者	【団体会員】 山のグラウンドワーク(第65回～第70回)	○森林整備 除伐・下刈り等：約14,000㎡ アカマツ林内の雑木の除伐・地拵え 約4,000㎡ ○炭焼き等 炭焼き準備(薪割り・窯詰め)カン材約150kg ○チップづくり等 材のチップ化体積：約15㎡ ○講座 木質バイオマス講義、「西条・龍王の名水」ガイドツアー ○バイオマス講習 「地球温暖化と木質バイオマス」佐藤高晴広島大准教授 ○第30回水郷水都全国会議東広島大会 見学35名 ・開催場所：東広島市憩いの森公園 ・参加者：一般市民・大学生・高校生・企業関係者・東広島学・キヤノンマーケティングジャパン、スタッフ等	作業エリア近くまでチップパーシュレッダーを持ち込むことができない場所が増え、材のチップ化量が大幅に減りました。
30	【事業者会員】 山のグラウンドワーク		林内の除伐作業を行いました。 ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：10人(職員)		林内の除伐作業を行います。 ・開催場所：憩いの森公園 ・参加者数：10人程度(職員)
31	【事業者会員】 自社での野菜の栽培		夏野菜を作るための畑作りで、焼き鳥を焼くときに出了た灰を耕した畑にまきました。		

(2) 自然とのふれあいの推進

【取り組みの方向性(目標)】

- 自然とふれあうことができる場づくり
森林、川、ため池、海などの本市が有する多様な自然環境と、安全に楽しくふれあうことができる場づくりを目指します。
- 自然とふれあえる機会や活動の充実
自然とふれあうことによって、自然環境に対する理解や愛着を深め、環境保全に対する自主的な行動の促進を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【都市整備課】 自然公園管理事業	○憩いの森公園の施設の管理に間伐材を使用しました。 ○公園内を間伐して整備することにより、子ども大人も安心して自然と触れ合える空間の確保に努めました。	公園施設の管理に継続して間伐材を使用します。	○施設の管理に間伐材を使用します。 ○間伐して整備することにより、人が森に入りやすい環境をつくります。
2	市民	【団体】 野鳥の会との交流	東広島市の野鳥と自然に親しむ会の方たちと一緒に小学校の周辺で野鳥や昆虫、野草の観察をし、生き物のことについて、教えてもらいました。 野鳥の会の先生方からいろいろなお話を聞いて、私たちの街の自然が今までより身近に感じられるようになり、もっと、自然を大切にしようと思いました。		
3		【団体】 まちづくり協働農園	高美が丘・杵原・高屋堀の間にある農地を所有者からお借りして協働農園を行い、さつまいもや玉ねぎなどの野菜や様々な果樹を育てました。秋には地域の子供たちを呼んで、芋掘り大会を開催し、農業体験してもらったり、農園内に作ったピザ窯でピザを焼き、地域住民にふるまったりしました。 この活動によって、大人も子供も自然に触れ合う機会が増えるとともに、住民同士の交流が生まれています。 協働農園を営む仲間たち:約25人		
4		【団体会員】 第15回 アクアフェスタin福富	「水はいのち」をテーマに自然と環境を守るイベントを続けています。26年度は節目の15回目を迎えました。 ・開催場所:道の駅 湖畔の里 福富 ・参加人数:18,000人		○第16回 アクアフェスタin福富 27年度も第16回を迎えますが、「水はいのち」のテーマで自然と環境を守るイベントとして続けていきたいです。 ・開催場所:道の駅 湖畔の里 福富 ・参加人数:20,000人(目標)
5		【団体】 沼田川探検	河内西小学校児童を対象に、沼田川に生息する生き物の捕獲・観察等を行い、地元の自然を愛する心を育てています。 ・参加者:河内西小学校児童		
6		【団体】 ホタルの観察会	地域を舞うホタルを観察する会を開催し、地域住民が地域の自然と触れ合う機会となりました。 ・参加者:地域住民		
7		【団体】 地域が集う花壇作り	地域センター周辺の花壇を使って、地域の方々が思い思いの花を植えました。地域センターには花があふれ、地域の人々がその花を見に地域センターに集まるようになりました。地域センターは人々の交流や自然との触れ合いの場所となっています。		
8		【団体】 生命の神秘 アカテガニの産卵観察会・ホタル・シラウオの観察会	満月が近い夏の夜、産卵のため海岸を目指すアカテガニの集団が赤崎海岸に集まります。アカテガニの命をつなぐ自然の営みを学ぶ観察会を行いました。その他にも、ホタルやシラウオの観察会も行いました。 ・参加者:小学校児童、保護者等		
9		【団体会員】 雑魚釣り大会	広島大学の中坪先生を講師に迎え、黒瀬川で雑魚釣り大会を開催しました。子供たちをはじめとした多くの地域住民に参加いただき、オイカワ、カワムツ、ブルーギルなどの魚が釣れました。この大会を通じて、大人と子供が一緒になって、地元の黒瀬川に棲む生物を知る機会とすることができました。今後も、継続して開催し、地域住民の方が日頃はあまり知らない黒瀬川の自然に触れ合う機会を増やし、環境について考える機会になればと考えています。		
10		【団体】 野草観察会	黒瀬川沿い(ヘクト一橋~六日市橋)に生息する春の野草・野鳥の観察会を開催しました。講師には、東広島野鳥の会の新名先生ご夫妻と向田先生ご夫妻を招きました。 観察会当日は、多くの子どもたちが参加してくれ、45種類もの野草、野鳥、昆虫を観察することができました。私たちの活動に参加いただいた多くの方にまずは川に親しんでもらい、身近なところに豊かな自然が残っていることを知ってもらいたいです。また、活動の参加を通して自然に興味をもち、豊かな自然を次世代に残したいと一緒に活動してくれるメンバーの輪を広げたいと思っています。		
11		【団体】 しいたけ植菌体験	ふくろう館まつりで、しいたけの植菌体験を行いました。しいたけ植菌原木は持ち帰ることもできるので、各自で栽培を続けてもらうことも可能です。 ・参加者:ふくろう館まつり参加者		
12		【団体会員】 つつじの里づくり	福富町に自生しているつつじを保全していくために草刈りなどを行って、つつじが育ちやすい里山の環境整備をしています。 つつじは東広島市の市花でもあるので、つつじの里が市民の憩いの場となるよう、市民の皆さんや地元の方々の協力を受けながら整備を進めていきたいと思っています。		
13		【団体】 野鳥観察会・自然観察会	八本松町の七つ池などで、会員・一般問わず参加できる野鳥の観察会を開催しています。参加者たちは、日頃、あまり目に留めなかった野鳥を観察できたことで、地元の自然に対する関心や愛着を持つようになっています。		
14		【団体】 松板川探検	おやじの会の方々が先生となり、小学生にヨシノボリやオイカワなど松板川に棲む生き物の紹介をしました。また、みんなで川に入り、生き物を観察したり、採集したりしました。子供たちは、採集した魚を大事そうに水槽に入れ、熱心に観察していました。		
15		【団体】 天神嶽の登山道整備	登山道の草刈りや倒木の処理を行い、市民が天神嶽を訪れやすい環境を作りました。 ・参加者:地域住民		
16		【団体】 天神嶽登山道整備	天神嶽の登山道整備を行い、市民が天神嶽を訪れやすい環境を作りました。		
17		【団体】 板鍋山林道整備	板鍋山の林道の草刈りや清掃、もみじや桜の植樹などを行い、板鍋山の林道整備を進めました。春は桜、秋は綺麗に色づいた紅葉を見ながら登山をすることができます。		
18		【団体】 小田城跡周辺の里山整備	小田城跡周辺や登山道の草刈りを行いました。また、小田城跡跡地に見晴らしやぐらの設置や桜の植樹などを行い、小田地区を見渡せる憩いの場として整備しています。		
19		【団体】 大沢田池周辺環境整備	大沢田池周辺が市民の方にとって散策しやすい憩いの場となるよう、草刈りや清掃活動などの定期的な維持管理を行いました。スポーツ少年団の子供達も参加してくれるなど、幅広い年齢の方が活動しています。		
20		【団体】 大迫山の遊歩道整備	西大沢のテクノタウンに隣接する大迫山(343m)の遊歩道整備を行っています。定期的な維持管理は自治協議会の環境・景観部会が中心となって行っていますが、年に1回は、多くの方が参加して、倒木の除去や草刈りなどの整備を行っています。そのおかげで、市民が歩きやすい遊歩道を維持できている、尾根筋には「高射砲の跡」など、戦争の遺跡が見られます。		

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
21	市民	【団体会員】 つつじの咲く里山づくり 体験版	○第1回 雨の中を後谷集会所近くの山で自生のミツバツツジに目印に赤いリボンをつけました。その後集会所で昼食、まちづくりや今後のつつじの里づくりの取り組みについて話し合いました。 ○第2回 目印のリボンのつつじの木を残しながら、低木、下草を刈りました。枯れ枝、枯れ木の掃除をし、一応、「後谷つつじ山1号」が出来上がりました。 ○第3回 激しい雨のためにつつじ山を見学後、集会所で後谷の昔の暮らし、現在、未来について話し合いました。その後昼食をとりました。 ・開催場所：後谷つつじ山、後谷集会所 ・参加者：一般市民・地元民(延べ75名)		
22	事業者	【団体会員】 山のグラウンドワーク(第65回～第70回)	○森林整備 除伐・下刈り等：約14,000㎡ アカマツ林内の雑木の除伐・地拵え 約4,000㎡ ○炭焼き等 炭焼き準備(薪割り・窯詰め)カン材約150kg ○チップづくり等 材のチップ化体積：約15㎡ ○講座 木質バイオマス講義、「西条・龍王の名水」ガイドツアー ○バイオマス講習 「地球温暖化と木質バイオマス」佐藤高晴広島大准教授 ○第30回水郷水都全国会議東広島大会 見学35名 ・開催場所：東広島市憩いの森公園 ・参加者：一般市民・大学生・高校生・企業関係者・東広島学・キャンノンマーケティングジャパン、スタッフ等	作業エリア近くまでチップパーシュレッダーを持ち込むことができない場所が増え、材のチップ化量が大幅に減りました。	山のグラウンドワーク(第71回～第75回) ○森林整備 除伐・下草刈り、チップづくり等 ○整備エリアの植生調査 ○炭の窯だし計量 ○炭焼き ○ペレットづくり ○まき割り ○チップづくり ○講座 木質バイオマス講習、名水ガイドツアー(きき水体験)等 ○バイオマス講習 木質バイオマス講習「地球温暖化と木質バイオマス」佐藤高晴広島大准教授 ・開催場所：東広島市憩いの森公園 ・参加者：一般市民・大学生・高校生・企業関係者等
23		【団体会員】 環境にやさしい米づくり・アイガモによる環境にやさしい米づくり	小学生や幼稚園児に、田植えや稲刈りを体験してもらいました。 ・参加者：久芳小学校、造賀小学校、広島市内の幼稚園		小学生や幼稚園児に、田植えや稲刈りを体験してもらいます。 ・参加者：久芳小学校、造賀小学校、広島市内の幼稚園

(3) 生物多様性の保全

【取り組みの方向性(目標)】

○生物多様性の保全

山から海に至る本市の多様な環境に適応した生物に対する認識を高め、生物多様性の保全を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1		【文化課】 文化財調査保護事業	○椋梨川・椋梨川支流・吉原川において、計20回(分布調査、産卵調査、幼生調査)を行い、9月には椋梨川上流及び三篠川において産卵を自然巣穴での産卵を確認しました。1月には椋梨川、三篠川で幼生を確認しました。 ○第11回日本オオサンショウウオの会東広島大会を開催しました。 日時：9月27日(土)～28日(日) 場所：9月27日(土) 豊栄生涯学習センター・清武西地域センター・三篠川 9月28日(日) 清武西地域センター・椋梨川・広島大学総合博物館・広島大学理学部附属両生類研究施設 参加者：約300名	今後も同様の調査を継続します。	○分布調査：5月～11月に月1回程度実施(夜間) ○産卵調査：9月初旬(午前～午後) ○幼生調査：1月～5月に月1～2回程度実施(日中)
2		【河川港湾課】 環境保全型ブロックを使用した河川整備工事	環境保全型ブロックを使用した河川整備工事を行いました。 ・2河川 ・延長L=118.6m	河川規模やコスト縮減の観点から、全ての河川において環境保全型ブロックの使用は困難な状況です。	技術的に施行可能な河川に、環境保全型ブロックを使用した河川整備を行います。 ・2河川 ・延長L=154.0m
3	市	【都市整備課】 都市公園の整備	龍王山総合公園の整備工事を継続して行いました。	カスミサンショウウオの保全を行うとともに、生態が観測できるような整備を行います。	引き続き、龍王山総合公園の整備工事を継続して行います。
4		【農林水産課】 多面的機能維持管理支払交付金事業	次のとおり農村環境保全活動への支援を行いました。 ①農地維持支払 39組織 多面的機能を支える共同活動を支援 ⇒ 担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押し ・農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の基礎的保全活動 ・農地の構造変化に対応した体制の拡充・強化・保全管理構想の作成 等 ②資源向上支払 ●地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る共同活動を支援 38組織 ・水路、農道、ため池の軽微な補修 ・農村環境保全活動(植栽による景観形成・ピオトープづくり) ・多面的機能の増進を図る活動 ●施設の長寿命化のための活動 12組織	平成27年度から法令に基づき施行されます。制度の周知徹底・拡充を図ります。	次のとおり農村環境保全活動への支援を行います。 ①農地維持支払 多面的機能を支える共同活動を支援 ⇒ 担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押し ・農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の基礎的保全活動 ・農地の構造変化に対応した体制の拡充・強化・保全管理構想の作成 等 ②資源向上支払 ●地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る共同活動を支援 ・水路、農道、ため池の軽微な補修 ・農村環境保全活動 ・多面的機能の増進を図る活動 ●施設の長寿命化のための活動(既存組織のみ継続)
5		【団体】 野の花を後世に	リンドウ仮植、フシグロセンノウ、カザグルマ、カワラナデシコ、ワレモコウの苗配布、カザグルマ挿芽、ササユリ袋蒔きなどを行いました。希少種を観察するウォーキングの中で、ハンショウヅルの蕾も発見しました。 地域のシンボルであるカザグルマは、多くの方に目にしてもらえるよう、鉢に植えて地域センターに置いています。		
6		【団体】 エヒメアヤメの里づくり	絶滅危惧種に指定されているエヒメアヤメを保存する活動を行っています。天神嶽には自生するエヒメアヤメが見られ、訪れた人が過ごしやすく、里周辺の草刈りや看板の設置などを行いました。 平成26年5月には「エヒメアヤメの里 天神原まつり」を開催し多くの人が訪れました。		
7	市民	【団体】 生命の神秘 アカテガニの産卵観察会・ホテル・シラウオの観察	満月が近い夏の夜、産卵のため海岸を目指すアカテガニの集団が赤崎海岸に集まります。アカテガニの命をつなぐ自然の営みを学ぶ観察会を行いました。その他にも、ホテルやシラウオの観察会も行いました。 ・参加者：小学校児童、保護者等		
8		【団体】 野鳥の会との交流	東広島の野鳥と自然に親しむ会の方たちと一緒に小学校の周辺で野鳥や昆虫、野草の観察をし、生き物のことについて、教えてもらいました。 野鳥の会の先生方からいろいろなお話を聞いて、私たちの街の自然が今までより身近に感じられるようになり、もっと、自然を大切にしようと思いました。		

(4) 市街地の緑の保全と整備・創出

【取り組みの方向性(目標)】

○市街地の緑の保全

公園や街路樹、生垣などを適切に維持・管理し、私たちの生活に潤いを与えるとともに、都市部における多様な生物の生息環境でもある、市街地の緑の保全を目指します。

○市街地の緑の整備・創出

公共施設や民有地等の緑化、公園の整備等により、市街地の緑の整備・創出を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【都市整備課】 都市公園の整備	○東広島運動公園の補償調査業務、用地取得を行いました。 ○引き続き龍王山総合公園の整備工事を行いました。 ○(仮称)諏訪公園の整備工事に着手しました。	引き続き、バランスに配慮して公園の設置を行います。	○東広島運動公園の駐車場造成工事を行います。 ○引き続き、龍王山総合公園の整備工事を行います。 ○引き続き、(仮称)諏訪公園の整備工事を行います。 ○(仮称)切田が丘2丁目公園の測量設計業務を行います。
2		【都市整備課】 都市公園管理事業	広報紙、パンフレット、FMひがしひろしま、ホームページ等により、情報提供を行いました。	住民自治協議会と連携して公園里親制度の普及を図ります。	○情報提供の充実 より多くの市民の関心を高めるために、公園里親制度に関する情報を提供し、緑豊かなまちづくりの推進に向け、広報紙、広報番組、パンフレット、インターネットによる情報提供の充実を図ります。
3		【管財課】 公共施設の緑化	引き続き公用車車庫と北館屋上の緑化を実施しました。	引き続き本庁舎の緑化促進と植栽の管理を行います。	引き続き本庁舎の緑化促進と植栽の管理を行います。
4		【都市計画課】 地区計画による緑化推進	地区計画制度の活用により、周辺環境に配慮した土地利用を図る中で、沿道の生垣化や緑地の設定などによる、地区内の緑化推進を図りました。 ・地区施設の配置方針として、緑地を設けました。 ・緑豊かな環境づくりのため、沿道の生垣化を推進するといった垣・柵の構造の制限を定めました。 平成26年度：御園字滝原地区、寺家地区産業団地の地区計画の策定を行いました。	周辺の市街化調整区域への環境負荷がかからないような地区計画の策定が課題です。	地区計画制度の活用により、周辺環境に配慮した土地利用を図る中で、沿道の生垣化や緑地の設定などによる、地区内の緑化推進を図ります。 ・地区施設の配置方針として、緑地を設けます。 ・緑豊かな環境づくりのため、沿道の生垣化を推進するといった垣・柵の構造の制限を定めます。 平成27年度：吉川工業団地北地区の地区計画の策定を行います。
5		【農林水産課】 緑化推進事業	森林学習や植樹祭など予定どおり実施し、団員の養成ができました。 18名の卒団者に対して、35名の入団者を迎えることができました。 ⇒現団員数：78名	今後も事業を継続し、子どもたちに郷土緑化意識の高揚を図ります。	自然学習や植樹祭など12回の行事を通じて団員の養成を行います。 【活動内容】 1回…自然学習、2回…地元植樹祭、卒入団式リハーサル、3回…卒入団式、4回…街頭緑化募金、5回…「山の日」イベント、6回…サマーキャンプ準備、7回…サマーキャンプ、8回…卒団記念行事、9回…自然学習、10回…水と土の学習、11回…市民環境緑化植樹祭、12回…もつつき体験学習
6		【廃棄物対策課】 公衆衛生推進協議会が実施する花いっぱい運動の支援	1 共通事業 東広島市公衆衛生推進協議会の組織・活動・募金 2 各支部での取組事業 花いっぱい運動、水辺教室、健康学習活動など地区独自の活動を展開	廃棄物対策課は、東広島市公衆衛生推進協議会の事務局をしており、自ら活動するものではありません。東広島市公衆衛生推進協議会は、住民自治協議会の設立に伴い、環境部会等と一体的に活動又は外部団体として活動しており、住民自治協議会や地区の公衆衛生推進協議会の自主性を尊重しています。	○平成26年度の課題等を基に計画検討します。 東広島市公衆衛生推進協議会は、10支部・46地区・約1,000人(その内、環境保全監視員92人)で構成されています。支部・地区が実施する花いっぱい運動に対して補助金を通じて支援を行っています。また、全市域で取り組むべき事業を選定し展開するとともに、その他の有効な啓発を検討しています。
7	市民	【団体】 河内小学校花いっぱい運動 ～ コメリ緑基金～	コメリ広島河内店が河内小学校へプランター、苗、土の寄付をし、それを使って児童たちがプランターに花植えをしました。また、児童たちは、「you 愛 sun こうち」から提供された燻炭での土作りや敷わらの使い方・機能を学びました。地域の事業者と住民が一緒になって、学校や街を花いっぱいにしています。		
8		【団体】 サルビア苗移植作業・配布	地域住民がふくろう館に集まり、サルビアの苗をプランターへ移植して、それを地域を問わずに地域センターや保育園などに配布しました。能良地区だけでなく、広域にわたって緑の多い街づくりにつながっています。		
9		【団体】 たかや花フェスタ	「花いっぱいの学区にしよう」と長年続いている取り組みです。毎年、9月に寄せ植え大会を地域センターで行い、各自が家に持ち帰って育てた花々を10月の「たかや花フェスタ」の時に地域センターに持ち寄ります。フェスタ当日は、地域センター周辺が花で飾られ、フェスタ終了後、希望者がプランターを持ち帰り、それぞれが引き続き花を育てました。		
10		【団体】 花いっぱい運動	年に2回(春・秋)、小学校や駅前の花壇に季節の花を植えて、街中を花いっぱいにする運動を行いました。植えた花は、それぞれが持ち場を決めて(里親制度)維持管理するようにしています。		
11		【団体】 校内外の緑化活動	地域の方々や協力しながら、全校生徒が校内外の緑化・育樹活動に積極的に取り組み、美しい学校づくり・地域づくりを行っています。 平成25年度には、全日本学校関係緑化コンクールで準特選(国土緑化推進機構会長賞)を受賞しました。		
12		【団体】 サルビア街道	志和堀小学校の児童、老人会、壮年会が協力して、サルビアの苗を育てました。育てたサルビアは一斗缶に移植し、それを志和堀交差点付近に設置しました。また、設置した後は、地域の人たちが交代で水やりをし、枯れないように育てています。 地域の協力があって、毎年9月頃にはきれいなサルビアが志和堀交差点に並んでいます。		

(5) 歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用

【取り組みの方向性(目標)】

- 歴史・文化的資源の保全・活用
歴史・文化的資源を大切に保全し、地域の歴史を学ぶ教材等として活用するなど、先人が私たちに残してくれた貴重な環境資源の保全・活用を目指します。
- 歴史的な町並みの保全

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【文化課】 安芸国分寺歴史公園の整備	○史跡を展望する展望テラス(面積180㎡、排水工、芝張り、ベンチ2、説明板1)の整備工事を行い、10月18日に完成しました。 ○史跡の西側隣接地に駐車場(面積1,242㎡、造成工・舗装工、大型バス2台、普通車20台、案内板1)の整備工事を行い、3月20日に完成しました。 ○安芸国分寺歴史公園の整備計画が全て終了したため、平成27年3月26日に開園式を行いました。	ハード面での整備は終了したので、より多くの市民に活用されるよう、各種ソフト事業を計画し、実施していく必要があります。	ハード面の整備は平成26年度で終了したため、今後は、樹木の育成管理等、適切に維持管理を行っていきます。
2		【生涯学習課】 生涯学習システム運営事業	○学習メニューブック 学習メニューブックの作成 (前期:2,000部、後期:2,000部) ○生涯学習まちづくり出前講座 ①リーフレットの作成(4,000部、128講座掲載) ②出前講座の実施(講座実施回数:233回、講座受講人数:延べ6,981人) それぞれ、地域センター、生涯学習センター、図書館、金融機関、病院、自治協議会等へ配布依頼を行いました。 酒蔵地区、白市地区の景観形成に係る計画推進及び地元調整を図りました。	メニューブック・出前講座の周知を行い、より多くの市民に活用していただく。	○学習メニューブック 各機関において実施する様々な講座や教室等の情報を提供してもらい、その情報を掲載する学習メニューブックを作成し、市民に提供します(年2回)。 ○生涯学習まちづくり出前講座 ①市の各部署や公的機関・団体から講座メニューを提供してもらい、年1回リーフレットを作成し、市民に提供します。 ②市民の申し込みにより、講師を派遣します(出前講座の実施)。
3		【都市計画課】 酒蔵地区、白市地区の景観形成	平成26年度:酒蔵地区の景観保全の短期的な取り組みとしている「市独自の補助制度の創設」に向けて庁内調整を図り、ゆとりと潤いのある道路空間の創出を図るために、道路美装化について地元住民と協議しながら、測量設計に着手しました。	酒蔵地区については多様な土地利用がされていることから景観形成は継続的な課題です。	酒蔵地区、白市地区の景観形成に係る計画推進及び地元調整を図る。 平成27年度:酒蔵地区の景観保全の短期的な取り組みとしている「市独自の補助制度の創設」に向けた調査を行うとともに、引き続き、ゆとりと潤いのある道路空間の創出を図るために、道路美装化について地元住民と協議しながら、事業を進捗する予定です。また、白市地区においては白市交流会館の建築と一体的に道路美装化を実施し景観形成の推進を図る予定です。
4	市民	【個人会員】 古民家再生プロジェクト	○茅葺き屋根の葺きかえ体験 空き家の茅葺き民家再生プロジェクトの一環で、石井元春氏、沖元太一氏の指導の下、学生中心で屋根の葺き替えを行いました。 ○茅刈り 西中国茅葺き民家保存研究会主催の茅刈り行事に、近畿大学生を連れて、次年度の茅葺き屋根の葺き替えのための茅刈りを実施しました。 ○活動成果発表会&餅つき 茅葺き民家再生プロジェクトの1年間の活動成果を、家主さんや協力してくださった一般の方へプレゼンしました。 ・開催場所:豊栄町能良、志和町志和堀 ・開催回数:年3回 ・参加者:学生・一般(述べ約130名)		○茅葺き屋根の葺きかえ 空き家の茅葺き民家再生プロジェクトの一環で、学生中心で屋根の葺き替えを行います。 ・開催場所:豊栄町能良 ・参加者:学生・一般
5		【団体】 米山城跡・栴城跡の整備	戦国時代以前の土塁城である米山城跡・栴城跡周辺の雑木や伐採の草刈りを行いました。 将来にわたって地域の歴史的資産となるよう取り組んでいます。		
6		【団体】 小田城跡周辺の里山整備	小田城跡周辺や登山道の草刈りを行いました。また、小田城跡跡地に見晴らしやぐらの設置や桜の植樹などを行い、小田地区を見渡せる憩いの場として整備しています。		
7		【団体】 豊栄町民俗資料展示室	昔の農機具や日用品など、豊栄で代々受け継がれてきた伝統ある品々が、安宿地域センターの2階に展示されています。これらの歴史的資源は、地域の生活・文化や、昔からの仕事の歴史を学ぶ貴重な教材となっています。		
8		【団体】 光の宴	三ツ城古墳周辺を1,000本のキャンドルで照らし、幻想的な雰囲気の中、古墳周辺を散策したり、和楽器の演奏や子供たちの作品展示など、様々な出し物が行われました。県内最大の古墳である三ツ城古墳に地域住民が触れ合う良い機会となりました。平成26年10月に初めて開催し、今後も継続していけたらと考えています。		

(6) 潤いのある市街地景観の創出

【取り組みの方向性(目標)】

- 総合的な景観形成の推進
良好な景観形成のためのルールづくり等により、快適で質の高い町並みの形成を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市民	【団体】 花いっぱい運動	年に2回程度、中央生涯学習センターに地域の住民が集まり、講師の先生方の指導のもと、春はベコニアやユーフォルビア、冬はビオラ、パンジー、葉ぼたんなど、季節の花をプランターに植え、自宅や公的機関などの前に置き、市街地の景観が美しくなるように努めています。 また、平成27年1月に供用開始された西条駅北口にもプランターを並べました。通勤・通学などで駅を利用する方たちに、季節の花を楽しんでいただければと思っています。		
2		【団体】 火とグルメあきつフェスティバル 花の鉢無料プレゼント	フェスティバルで展示していた花の塔の鉢植えを来場者に無料で配布しました。配布した鉢植えは各自で自宅前や各施設の前に飾ってもらい、市街地の緑化に努めました。		
3	事業者	【事業者】 東広島市の景観パンフレット作成	景観とは日々、我々は常に見ているものです。景観とはその時代の象徴であり例えば伝統文化、郷土愛、環境問題など様々な分野との繋がりの結果としての表れでもあります。また景観を追求していけば、景観だけでなく様々な分野で、本当にこれから後世に伝えてくべき事が、自然と見えてくのではないかと考え、本冊子を作成しました。 本冊子の内容は、西条の酒蔵通りを始め、市内9町ごと地域特有の調和の取れている景観写真を載せ解説したり、景観法の説明も入れた内容になっています。		

(7) 健全な水質と水循環の確保

【取り組みの方向性(目標)】

○健全な水質の保全

水を汚さない取り組みの実践等により、健全な水質の保全を目指します。

○適正な水循環の確保と水資源の有効活用

水源となる森林の保全や雨水利用等により、水循環の確保と水資源の有効活用を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【下水道建設課】 下水道管路の整備	生活排水を適切に処理するための下水道管路の整備を実施しました。 ・下水道管路設計業務 11件 ・下水道管路建設工事 25件 延長 10,743m ・その他業務 3件	未整備区域において高齢化等により整備を望まれない区域及び、人口減少により投資効果の低い区域があるため、いかに経済的、効率的に整備を行うか優先順位をつけ整備を継続します。	市民生活の環境改善と公共用水域の水質保全を目的として、生活排水を適切に処理するための下水道管路の整備を継続して実施し、快適で魅力ある住環境の整ったまちづくりを目指します。 ・下水道管路設計業務 5件 ・下水道管路建設工事 21件 延長 9,705m ・その他業務 4件
2		【環境対策課】 小型浄化槽設置整備への支援	○平成26年度補助金額実績 人槽区分 補助単価 補助予定基数 5人槽 332千円 281基 7人槽 414千円 57基 10人槽 548千円 16基 合計 354基 ○平成25年に法定検査を受けていない浄化槽(4,980基)の管理者に対し法定検査受検の指導を行いました。 新規に浄化槽を設置した者を対象とした浄化槽維持管理講習会を3/9に開催しました。 出席者45名		○公共下水道等を整備する区域以外において、小型浄化槽を設置する者に対し、浄化槽の人槽の区分に応じて補助金を交付します。 ・平成27年度補助金限度額 (新築)※H30年度以降は廃止 (改築)※1※2 人槽区分 補助単価 補助予定基数 人槽区分 補助単価 補助予定基数 5人槽 166千円 139基 5人槽 332千円 139基 7人槽 207千円 68基 7人槽 414千円 68基 10人槽 274千円 4基 10人槽 548千円 4基 合計 211基 合計 211基 ※1単独浄化槽及び汲み取り便所からの転換 ※2単独浄化槽の撤去が必要な場合は9万円を加算 ○浄化槽の適正管理を期するため、法定検査を受けていない浄化槽管理者に対し法定検査受検の指導を行うとともに新たに浄化槽を設置した者を対象とする浄化槽維持管理講習会を計画開催します。
3		【農林水産課・園芸センター】 振興作物土壌改良事業ほか	○有機良質米生産促進事業(豊かな農業づくり事業) H26年度補助金交付件数:93件 対象面積:9,584a 投入量:2,121t ○産地育成事業・振興作物土壌改良事業 H26年度補助金交付件数:33件 対象面積402a 投入量:180t ○特産振興品育成事業・土壌改良事業 H26年度補助金交付件数: 3件 対象面積4,203a 投入量:134t ○地産地消推進事業・地産地消土壌改良事業 H26年度補助金交付件数: 4件 対象面積40a 投入量10t ○担い手育成・担い手育成土壌改良事業 H26年度補助金交付件数: 7件 対象面積703a 投入量:345t	引き続き事業を行い、家畜排せつ物のたい肥利用を支援します。	市内の畜産農家から発生した家畜排せつ物等を原料としたたい肥を投入した農業者に補助を行います。
4		【環境対策課】 出前講座による啓発	○受講者の募集については、広報誌による周知や、地域・学校に向いた際に直接働きかけを実施しました。 ○平成26年度は延べ13件の出前講座を開講し、平成25年度実績に比べ5件の増加がありました。 ○13件の大まかな内訳は、小学校12件、地域住民1件となっています。 ○出前講座で学んだことを発展させ、学会発表を行った学校や、取り組みを発表し全国表彰される学校がありました。	地域に向けて開校する件数が少ないため、地域住民を巻き込んだ活動にできればと考えます。 件数については、今のところ増加させることを目標としますが、市民への問題意識の浸透や地域に環境活動を先導できるようなリーダーが生まれることなどにより、徐々に件数が減少していくことが理想と考えます。	1 出前講座「川を通じて地域の環境を学ぶ」を開講します。 2 地域への働きかけを行います。 3 学校への働きかけを行います。
5		【下水道管理課】 下水道の普及啓発	○下水道出前講座の開催 小学校10校(14クラス児童413人)を対象に下水道出前講座を行いました。 ○東広島浄化センター等の見学 下水道施設の見学会について15回実施し、729人の参加がありました。 内訳 東広島浄化センター 10回 634人 安芸津浄化センター 3回 40人 福富浄化センター 1回 15人 黒瀬水質管理センター 1回 40人 ○下水道コンクールの開催 下水道への理解を深めてもらうことを目的として、小・中学生から絵画及びポスターを、市民から標語を募集し、絵画ポスター140点、標語180点、合計320点の応募がありました。 ○環境フェアへの出展 環境フェア2014へ出展し、下水道の普及啓発活動を行いました。平成26年7月に実施し、約2,500人の来場がありました。 ○訪問等による普及啓発活動 東広島処理区の下水道供用区域内の下水道未接続の住民、約1,200世帯を対象に訪問等による普及啓発活動を実施しました。	普及啓発活動については、今後も継続的に行う必要があります。	○東広島浄化センター等の見学 下水が実際にきれいになる様子を見てもらい、下水道に対する関心を高めてもらいます。 ○訪問等による普及啓発活動 東広島処理区以外の下水道供用区域内の下水道未接続の住民、約900世帯を対象に訪問等による普及啓発活動を実施します。
6		【環境対策課】 水質改善モデル業務	○ため池の環境調査及び環境学習 ・八本松町の「七つ池」及び流れ込む水路(上流から下流の間で3測点)の水質測定を実施 →水路の上流から下流になるにつれて人口密度が増加し水の汚濁は進んでいることから、生活排水が主な汚濁の原因と考えられます。 ・八本松町の「七つ池」を題材に地元の八本松小学校5年生の児童を対象に環境学習を実施 →児童たちが興味を持って生物と触れ合える体験学習の時間を設けることで、身近な環境に関心を持つ機会を提供することができ、水を汚すのもキレイにするのも自分たちの行動が大きく影響していることを認識してもらえました。	これまで得られた調査結果や環境学習でのノウハウを出前講座にフィードバックし広く市内の環境学習へ活かしていきます。	これまで得られた調査結果や環境学習でのノウハウを出前講座にフィードバックし広く市内の環境学習へ活かしていきます。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
7	市	【農林水産課】 造林事業・環境貢献林整備事業	・森林所有者において除伐、間伐、下刈、植栽などが実施されました。 ⇒造林事業補助を実施した。:132.2ha ・荒廃人工林の再生に向けて間伐が行われました。 ⇒環境貢献林整備事業補助(間伐):29.6ha	今後も事業を継続していきます。	・森林所有者に対して除伐、間伐、下刈、植栽などに要する経費の一部を補助します。 ⇒造林事業補助(認定事業者への支援) ・放置され荒廃した人工林の再生に向けての取組を支援します。 ⇒環境貢献林整備事業補助(間伐)
8		【環境対策課】 地下水データ収集	平成26年度に水循環基本法が施行されたことを受け、各自治体の地下水保全に関する動きや、条例等の情報収集を行いました。	法施行に伴う、広島県の動きや市の現況を見ながら、市としての対応を検討します。	平成26年度に施行された水循環基本法に基づき、地下水を含めた水循環が健全に維持できるよう、その手法について検討を進めます。
9		【消防総務課】 雨水利用	雨水を屋外散水及びトイレの洗浄水として使用し、節水に努めました。	継続して利用します。	雨水をろ過し、滅菌して貯水し、屋外散水及びトイレの洗浄水として利用します。
10		【管財課】 雨水利用	雨水の利用により、水道使用量を縮減しました。	今後も、雨水を効果的に利用します。	引き続き、本庁舎本館において雨水を効果的に利用します。
11	市民	【団体】 EM菌の普及活動	家庭でできるEM菌の作り方について住民へ情報提供したり、EM菌の種の提供をしたりして、各家庭へEM菌の普及を行いました。使用者からは、EM菌の効果を実感しているとの感想も聞かれます。		
12		【団体】 堆肥を用いた農業の推進	米の収穫後に残った藁をなかやま牧場へ持ち込み、その代わりに堆肥をもらいました。もらった堆肥は、小田地区のそれぞれの田畑に配布され、それを肥料とした環境配慮型農業を推進しました。環境負荷の高い化学肥料を使用しないことから、小田川など近隣の河川への影響も減り、水質保全にもつながっています。		
13		【事業者会員】 パワー菌液「えひめA1」を使い排水の完全浄化	加工施設のシンク清掃に使い、排水時に溶液を混ぜて90人の大型浄化槽に流しました。 その結果 ①時々トイレのおいがしていたのが全く発生しなくなりました。 ②夏場トイレ内に小蠅が発生していたが使用後ほとんど発生しなくなりました。 ③最終的に浄化槽内の汚泥が少なくなることが期待できます。		・実施場所:館周辺 ・実施期間:通年
14		【団体】 なら炭・木酢液の製造	地元で伐採された櫓材を窯で焼いて、なら炭や木酢液を作りました。櫓炭は、空気や水の浄化作用があります。また、焼物料理に最適で、人気の商品となっています。 木酢液は作物成長促進や土壌改良など、農業でも活用できることから、減農薬にもつながっています。		
15	事業者	【団体会員】 龍王山憩いの森一帯の水質・水量と土壌貯水力定点観察調査	龍王山の山のグラウンドワーク作業エリア付近を流れる川や水路の水質を11地点と、土壌貯水力を3地点で調査しました。 ・開催場所:東広島市憩いの森公園 ・参加者:広島国際学院大学工学部 竹野健次准教授他スタッフ数名		龍王山の山のグラウンドワーク作業エリア付近を流れる川や水路の水質11地点、土壌貯水力5地点の調査を実施しました。 ※春秋の年2回、秋期11月下旬予定 ・開催場所:東広島市憩いの森公園 ・参加者:広島国際学院大学工学部 竹野健次准教授他スタッフ数名

(8) 水辺環境の保全とふれあいの創出

【取り組みの方向性(目標)】

○水辺環境の保全と再生

川やため池、海などの水辺の自然環境を将来にわたって健全に保全するとともに、失われたり失われつつある水辺環境の再生を目指します。

○水辺とのふれあいの創出

安全に水辺とふれあえる場づくり等により、市民の憩いの場や、豊かな水辺環境の保全を考える場となる水辺空間の創出を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【維持課】 道路河川維持管理作業に対する報償金の交付	○道路河川維持作業に対する報償金の交付を行いました。 (1)交付対象団体 簡易な維持作業を地域ぐるみの社会奉仕活動として行う団体 (2)作業内容 ①河川法面の草刈り ②河川堆積土砂の撤去清掃 (3)交付金額 A作業(4時間以上など) 700円/人、 B作業(2時間以上4時間未満) 350円/人、 写真代 300円/1実績 ①述べ団体数 184団体 ②述べ作業数 8,003人		○道路河川維持管理作業に対する報償金の交付を行います。 (1)交付対象団体 簡易な維持管理作業を地域ぐるみの社会奉仕活動として行う団体 (2)作業内容 ①河川法面の草刈り ②河川堆積土砂の撤去清掃 (3)交付金額 A作業(4時間以上など) 700円/人、 B作業(2時間以上4時間未満) 350円/人 写真代 300円/1実績
2	市民	【団体】 沼田川沿いの桜植樹	内容:沼田川の土手に桜の植樹を行いました。まだ小さな樹木ですが、地域住民で土手の清掃活動等を行い、いずれは地域住民が桜並木を楽しめる憩いの場所になることを目指しています。 ・参加者:住民自治協議会		
3		【団体】 アドプト事業 河川・海岸の清掃	赤崎海岸で年に2回、郷川で年に4回の清掃活動を行っています。		
4		【団体】 ぼかし肥料づくり教室	地域住民を対象に、ぼかし肥料の作り方教室を開催しました。ぼかし肥料は、油かすや米ぬかなどの有機質に穀類などを混ぜて発酵させた肥料で、化学肥料とは異なって自然への負荷が小さいため、水路や河川の水質保全につながります。		
5		【団体】 ホタルまつり	地域で毎年開催されているホタルまつりの活動として、ホタルが棲む半川でゴミ拾いやホタルの放流をしました。また、まつり当日は、来場された方々へホタルを守るために必要なことを発表しました。		
6		【団体】 神洗川の清掃	黒瀬町丸山区の住民が、地域を流れる神洗川の清掃を行っています。神洗川には、昔からホタルが生息していて、今でも、多くのホタルを見ることができます。このホタルを丸山区として末永く守るため、広島県のアダプト制度を導入して、活動しています。 また、きれいな川を守り続けるには、区民一人ひとりの協力が必要であるため、多くの区民に協力を呼びかけています。		
7		【団体】 沼田川探検	河内西小学校児童を対象として、沼田川に生息する生き物の捕獲・観察等を行い、地元の自然を愛する心を育てています。 ・参加者:河内西小学校児童		
8		【団体】 水辺教室	子供たちを対象に、川の生き物を観察するなどの水辺教室を実施しました。 ・参加者:河内小児童		
9	【団体】 吉川の自然増やし隊	吉川小学校の3・4年生が、市役所の方と学校近くの古河川で生き物観察をしたり、サニクリーンの方と炭を使ったミニろ過装置を作って水の大切さや森林の働きを学んだりしました。また、吉川村づくり推進委員会の方たちが作られた窯を使って、地域の方と一緒に竹炭づくりに挑戦し、竹炭が持っている水の汚れを取る効果などについても学びました。 地域で学んだこれらのことを活用して、吉川にホタルを増やすためにできることをみんなで考えました。			

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
10	市民	【団体】 小田川の水質調査	小田川に生息する水生生物を指標として、河川の水質を判定を行いました。参加した子供たちを含む地域住民も、自然環境の大切さを認識する機会となりました。 ・参加者：地域住民		
11		【団体】 親子水辺学習	造賀小学校の児童を対象に、造賀川に棲む生物調査を行いました。棲んでいた生物の種類によって造賀川の水質判定を行うと共に、子供たちにとって、地元の河川の水質環境に関心を持つきっかけとなりました。		
12		【団体】 ふるさと探検黒瀬川	学校の近くを流れる黒瀬川に入り、川に棲む生き物調査をしました。また、川の汚れの原因、川をきれいにするためにできることをみんなで考えて発表しました。発表は中南米から来られたJICAの研修生の皆さんにも聞いていただき、交流することができました。		
13		【団体】 松板川探検	おやじの会の方々が先生となり、小学生にヨシノボリやオイカワなど松板川に棲む生き物の紹介をしました。また、みんなで川に入り、生き物を観察したり、採集したりしました。子供たちは、採集した魚を大事そうに水槽に入れ、熱心に観察していました。		
14		【団体】 環境調査隊 三永川・青木川を調べよう	三永小学校の4年生が、学校の近くを流れている青木川と三永川で生き物調査をしたり、バックテストで水質検査をしました。調査の結果、青木川はとてもきれいであることがわかりました。また、吾妻子浄水場では浄水場の方と、ふるさと先生の高尾先生から水についてのお話をしていただき、みんなで協力しないと、きれいな川は守れないことを学びました。		
15	【団体会員】 水辺教室	ホテルの宿に泊まり、川に棲む生き物の観察や自然体験を行いました。 ・開催場所：志和堀 半川・関川・東川 ・参加者：延べ20人			

(9) きれいな空気や静かな環境等の保全

【取り組みの方向性(目標)】

○大気環境の保全

空気を汚さない取り組み等により、きれいな大気環境の保全を目指します。

○静かな環境の保全

日常生活や事業活動から騒音を発生させない取り組み等により、静かな環境の保全を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【道路建設課】 市道整備事業	1 滝原中郷線(一)下三永吉川線との交差点、宮東田口線(西条駅大学線との交差点)、及び土与丸25号線(国道375号との交差点)の市道整備事業において交差点改良を含む道路改良を実施しました。これにより、朝夕の通勤時の円滑な交通流動により、渋滞緩和、目的地到達時間の短縮等により、排気ガス、騒音の抑制に寄与しました。 2 乃美尾兼広線、中島小谷線(重兼工区)の市道整備事業において歩道設置を含む道路改良(2車線)を実施しました。これにより、車道の増設による交通容量の拡大、歩道設置による通行帯区分が明確となり、車両交通の円滑化が図られ排気ガス、騒音の抑制に寄与しました。 3 広報紙等掲載実績はありません。		1 交差点改良(右折レーン設置等)、待避所設置により、渋滞を緩和します。 2 道路改良により、幅員の拡幅、車道の増設による交通容量の拡大、歩道及び自転車歩行者道を設置して交通流の円滑化を図ります。 なお、交差点についても隅切りを設置し、道路における車の流れを円滑化にします。 これらにより、走行速度、道路渋滞の改善が図られ、排気ガス、騒音が軽減されます。
2		【都市計画課】 パーク＆ライドの推進	市は広島圏域パーク＆ライド推進協議会の会員として、山陽本線の八本松、西条、西高屋、白市の各駅をパーク＆ライドの対象駅とし、周辺駐車場の登録・紹介を行いました。 平成26年度：県が主体となる推進・啓発活動に対し、空き駐車場の情報提供を行いました。	利用者増のための普及啓発が課題です。	市は広島圏域パーク＆ライド推進協議会の会員として、山陽本線の八本松、西条、西高屋、白市の各駅をパーク＆ライドの対象駅とし、周辺駐車場の登録・紹介を行います。 平成27年度：県が主体となる推進・啓発活動に対し、空き駐車場の情報提供を行って協力します。
3		【管財課】 公用車管理事務	①車検満了時に合わせて公用車を削減しました。 平成25年度末227台→平成26年度末218台 ②燃費性能の良い軽自動車の切り替えを促進しました。 平成25年度末59%→平成26年度末70%	買取車については、低排出性能が伴っていないものが多いため、車検満了時を見計らい、切り替えを行います。	①集中管理の促進と稼働率の向上によって、公用車の全体数を削減するため、新たな公用車管理システムの設計を行います。 ②稼働率の低い車両を更新時に廃止します。 ③車両の更新時には、より燃費性能の良い車種や軽自動車への切り替えを図ります。
4		【廃棄物対策課】 野焼き防止対策(ダイオキシン対策を含む。)に関すること	1 野焼き指導 ・苦情から電話等により、対応した件数は51件。 ・野焼きパトロールを適宜行い、現場にて口頭指導するなど対応しました。 (晴天の日・乾燥した時期に、煙を目指して野焼き現場に行き市民に口頭指導を実施) 2 ホームページに記事を掲載し、野焼き禁止の情報を発信しました。	野焼きは消防関係(火災予防)、農林関係(農業の畦焼き)の部署とも関連があり、連携をとって野焼きは禁止されている事を周知します。 きれいなまちづくりキャンペーンの回覧文書の裏面に、野焼き禁止・不法投棄禁止の説明文書を掲載し、周知を図っています。	廃棄物の違法な焼却に対して指導を行い、ホームページなどで防止啓発に関する情報を発信します。
5		【環境対策課】 悪臭防止法に係る規制地域の指定等の導入	東広島市環境審議会の答申を受け、本市の悪臭規制方針を決定しました。規制については、平成26年10月1日に告示し、平成27年4月1日に施行しました。 規制の対象地域は市内全域とし、規制基準の程度については、住宅が多く集まる住居地域はやや厳しめ、それ以外の工業地域、商業地域及び農業地域では少し緩めの規制としました(廿日市市、三次市、庄原市と同じ規制内容)。	規制が始まったばかりで、まだ事業者や市民の認識が浅い可能性があるため、必要に応じて事業者や市民に悪臭規制について周知を続けていきます。	施行した規制内容に基づいて、事業活動から発生する悪臭の規制を行います。
6		【環境対策課】 ライトダウンキャンペーンの実施	○ライトダウンキャンペーンの後援 目的：光害の抑制や節電に関する啓発 主催：ライトダウンin東広島2014実行委員会 後援：エコネット東広島・東広島市など 星を見る会の実施 日時：平成26年7月25日(金) 19時30分から21時00分まで 場所：東広島市立西条小学校グラウンド、屋内運動場 来場者数：約470名 内容：東広島児童合唱団による星空コンサート、広島大学宇宙科学センター教授による天文・光害の話、天文・光害に関するクイズ大会及び景品抽選会、グラウンドでの天体観測 ○ライトダウンへの協力要請等 協力要請：127件(店舗、事務所など)、ポスター送付：186件(事務所、金融機関など)、チラシ配布：小学校、住民自治協議会を通じて配布	今後も継続して開催し、地域の事業者や個人への周知を進めながら、光害の抑制や節電の啓発を行っていきます。	○ライトダウンキャンペーンを後援します。 主催：ライトダウンin東広島2015実行委員会 日時：平成27年8月8日(土) 18時30分から21時30分まで 場所：東広島市立西条小学校グラウンド、屋内運動場 内容：合唱団によるコンサート 広島大学宇宙科学センター教授(仮)による天文・光害の話 天文相談コーナー(仮) グラウンドでの天体観測
7		事業者	【事業者】 ハイブリッドカーの導入	営業車両として、環境に配慮したエコタクシー(ハイブリッドカー)を9台導入しています。車体は環境を意識した鮮やかなデザインを採用し、街と自然に調和したものとしています。 また、全車に装備した安全運転管理システムのGセンサーの急発進・急停車時のアラーム警告機能により、乗務員はつねにエコドライブを心がけています。	

(10) 廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進

【取り組みの方向性(目標)】

○3Rを基本とした取り組みの推進

「ごみはできるだけ発生させない(発生抑制:リデュース)」、「いらぬモノは他の人や他の用途で使ってもらう(再利用:リユース)」、「資源として使えるモノは使う(再資源化:リサイクル)」の3Rを基本とした資源循環型のライフスタイルや流通形態の定着を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【廃棄物対策課】 ごみ減量化及び資源化の推進	1 出前講座を開催 ① 出前講座 開催 39回(参加者 1,446人) ② 減量啓発DVD貸出・インターネット配信 ③ 広報紙への連載・ホームページ配信 2 古着古布の拠点回収 約14トン回収 3 使用済小型家電の回収事業の導入 国の実証事業として実施し、約2.4トン回収(11月～2月の4ヶ月) 4 広島中央環境衛生組合管内での連絡調整 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議しました。	減量啓発活動を継続して実施します。	1 出前講座を開催 平成24年度に作成した啓発資料(分別冊子、啓発用DVD)を活用しごみの減量啓発講座を開催します。 開催案内は、各住民自治協議会、各教育機関ほか広報等で一般公募します。 2 古着古布の拠点回収 市公共施設及び主旨に賛同された地域センターの協力により古着古布の拠点回収を実施します。 3 使用済小型家電の回収事業の導入 国の実証事業から市の正式な事業として実施します。 4 広島中央環境衛生組合管内での連絡調整 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議します。
2		【廃棄物対策課】 固形状一般廃棄物処理事業	1 出前講座を開催 ① 出前講座 開催 39回(参加者 1,446人) ② 減量啓発DVD貸出・インターネット配信 ③ 広報紙への連載・ホームページ配信	今後も継続実施します。	1 出前講座を開催 平成24年度に作成した啓発資料(分別冊子、啓発用DVD)を活用しごみの減量啓発講座を開催します。 開催案内は、各住民自治協議会、各教育機関ほか広報等で一般公募します。
3		【廃棄物対策課】 生ごみ処理容器購入者に対する補助金及びごみ減量化施策	1 生ごみ処理容器購入費補助 ① 電気式生ごみ処理容器(55基 930,900円) ② コンポスト容器(93基 212,600円) ③ ミミズコンポスト容器(3基 9,000円) ④ EM菌処理容器(14基 16,800円) 2 電気式生ごみ処理容器の貸出 5基の総貸出件数 24件	今後も継続実施します。	1 生ごみ処理容器等購入費補助金(補助基数238基) 生ごみの軽量化促進のため、生ごみ処理容器購入者に対して、購入費等の一部を補助します。 前年度までの補助対象に加え、木材チップ購入補助金10基分、大型生ごみ処理容器購入補助金1基分、大型生ごみ処理容器リース補助金1基分を追加します。 2 ごみ減量化施策 ごみの減量化の周知活動の一環として資料を整備し、ホームページに掲載し啓発活動を行います。 3 電気式生ごみ処理容器の貸出 生ごみ処理容器の利用促進を図ることを目的に、短期間の貸出しを行い、市民への周知を図ります。
4		【市政情報課】 ペーパーレス会議システム導入		・会議中のメモに関してはペーパーレス化が難しいため紙資料を併用する形になり、完全ペーパーレス化が難しいです。 ・ペーパーレス会議システムを利用するタブレット端末もしくはノートPCが不足しているため、今後ペーパーレス会議の対象を拡大する場合、端末の整備から検討する必要があります。	平成27年6月にペーパーレス会議システムの構築作業を行い、平成27年7月から対象会議で順次運用を開始していきます。 対象とする会議は議会(本会議、常任委員会)、経営戦略会議です。
5		【廃棄物対策課】 広島中央環境衛生組合負担金	1 環境影響評価に係る準備書について、縦覧しました。 2 広島中央環境衛生組合新ごみ処理施設技術検討委員会により、新施設に係る処理方式、運営方式についての答申がされました。	平成29年度から施設建設工事に着手し、平成32年度10月の共用開始を目指します。	ごみ焼却施設については、賀茂環境衛生センター、竹原安芸津環境センター、大崎上島環境センターの3施設を統合整備し、し尿処理施設については、賀茂環境衛生センター、安芸津クリーンセンター、竹原クリーンセンターの3施設を統合整備する計画です(建設候補地 東広島市と竹原市の市境に位置する松ヶ山・藤山内)。 1 環境影響評価に係る評価書について、縦覧します。また、広島中央環境衛生組合により検討委員会を設置し、施設の仕様等を審議します。 2 用地取得及び造成工事に着手します。
6	【廃棄物対策課】 資源回収推進団体の育成支援	1 資源回収推進団体報償金交付 ① 登録団体数 214団体 ② 交付件数 613件 ③ 資源回収量 2,425トン ④ 交付金額 13,093千円	今後も継続実施します。	市民のごみの分別意識の向上及び再資源化促進のため、一般家庭から排出される再資源化できる古紙類、繊維類、金属類及び瓶類を自主的に回収した団体に対して報奨金を交付します。	
7	【下水道施設課】 下水道汚泥を有機肥料として資源化	公共下水道の終末処理場から排出される下水道汚泥はすべて民間処理業者に委託し、有機肥料として資源化しています。 平成26年度脱水ケーキ搬出量 9,434t (内訳) 東広島浄化センター 8,670t 黒瀬水質管理センター 518t 安芸津浄化センター 148t 福富浄化センター 42t 豊栄浄化センター 56t	今後も下水道の整備に伴い脱水ケーキ搬出量が増加することから、これに対応して下水道汚泥由来の有機肥料の普及促進が課題です。	平成27年度以降も継続します。	
8	【団体】 かかしづくり	家庭にある古着などを利用して案山子を作成し、本当にそこに人々が多くふれあっているようで、ほほえましい活気が生まれています。案山子(かかし)は、あすか地域センターに展示しました。 住民自治では、案山子づくりの視察研修に廿日市まで出向きノウハウを取得しました。			
9	【団体】 ごみ減量作戦@リバーサイドフェスティバル	生徒会執行部の生徒が、河内市民グラウンドと、椋梨川河川敷で開催されたリバーサイドフェスティバルで、フェスティバルから出されるごみの減量につながるよう、ごみの分別のボランティア活動を行いました。 生徒は全員「心美体健」Tシャツ姿で河内高校をアピールし、来場者の方々にごみの分別を呼びかけるなど、多くの人たちとふれあいが取り組みました。			
10	【団体】 ゴミダイエット作戦(サマーフェス)	サマーフェスタへの参加者を対象に、20リットルの黄色いゴミ袋を配布し、ゴミの持ち帰りをお願いしました。リサイクル品の仕分けには、公衛協の推進員が協力し、廃棄物の排出抑制や循環的利用の促進につなげました。			
11	【団体】 環境問題について考えよう!	4年生の児童達が、地球温暖化や、資源の再利用について、新聞で情報収集したり、市役所の先生からお話を聞いて学んだりしました。 そこで学んだことを元に、自分たちができることをみんなで考えて、地球温暖化防止のためにグリーンカーテンを育てたり、省資源やCO2の削減になるよう、飲み終わった牛乳のパックをリサイクル工場へ持ち込みました。リサイクル工場では、牛乳パックがリサイクルされる様子を見学しました。			
12	【団体会員】 東広島リサイクルショップ	資源愛護の啓発。ゴミの減量を図る。市民より不用品の提供を受け、一般市民に提供します。 ・実施場所:西条町寺家2742 ・対象者:市民			

(11) 不法投棄防止対策の推進

【取り組みの方向性(目標)】

○環境美化活動の促進による不法投棄の防止
 自分たちの暮らすまちを清潔に保つため、多くの市民が環境美化活動に参加することで、ごみのポイ捨てや不法投棄をしにくい、清潔な環境づくりを目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定	
1	市	【廃棄物対策課】 不法投棄防止啓発看板及び犬のフン放置防止啓発看板の作成・配布	1 看板及び支柱を作成し希望者へ配布しました。 ① 不法投棄防止啓発看板99枚(H27.1月末) ② 犬のフン放置防止啓発看板及び支柱120枚(H27.1月末)	看板について、要望がある市民に対しては継続して配布するとともに、ホームページで情報発信を行います。	1 看板及び支柱を配布します。また、看板に関する情報をホームページに掲載します。 ① 不法投棄防止啓発看板及び支柱(80枚[本]) ② 犬のフン放置防止啓発看板及び支柱(120枚[本])	
2		【廃棄物対策課】 本市及び環境保全監視員による不法投棄監視パトロール及び収集	1 不法投棄監視パトロール及びごみ処理業務 シルバー人材センターに監視パトロール及び不法投棄ごみの処理業務を委託し、ごみ112,427kgを処理しました。 2 不法投棄夜間監視パトロール(重点監視地点) 不法投棄が多発している地点について、夜間パトロールを業者に委託して実施しました。 3 環境保全監視員による不法投棄監視パトロール及び収集活動 東広島市公衆衛生推進協議会における環境保全監視員(不法投棄監視パトロール及び収集活動を実施)に対する補助金を支出し、不法投棄の監視及び回収活動を行いました。 4 地域清掃活動を実施する市民などへごみ袋を提供し、地域団体の活動を支援しました。 5 不法投棄監視カメラの設置 不法投棄が多い場所に、移動式監視カメラを設置し、不法投棄ごみの減少を図りました。	不法投棄者の摘発に向けた施策として、移動式監視カメラの設置場所の選択等に配慮します。	1 不法投棄監視パトロール及びごみ処理業務 シルバー人材センターに監視パトロール及び不法投棄ごみの処理業務を委託 2 不法投棄夜間監視パトロール(重点監視地点) 不法投棄が多発している地点について、夜間パトロールを業者に委託 3 環境保全監視員による不法投棄監視パトロール及び収集活動 東広島市公衆衛生推進協議会における環境保全監視員(不法投棄監視パトロール及び収集活動を実施)に対する補助 4 地域清掃活動を実施する団体へのごみ袋の提供 5 不法投棄監視カメラの設置 不法投棄が多い場所に、移動式監視カメラを設置し、不法投棄ごみの減少を図ります。	
3		【廃棄物対策課】 不法投棄の土地所有者に対する指導、助言を行う	不法投棄者に対する指導、助言についてホームページに情報を掲載するなど、啓発活動を実施しました。	不法投棄の事例等、ホームページに掲載し、情報発信を行い、不法投棄の撲滅を目指します。	投棄された廃棄物を発見した場合、関係機関(県及び警察)と連携して投棄者、土地所有者に指導、助言を行います。 また、不法投棄に関する情報をホームページに掲載するなど、情報発信を行います。	
4		【廃棄物対策課】 きれいなまちづくりキャンペーンの実施	1 平成26年度は、実施後にホームページに情報を掲載しました。 参加者 12,401人 収集量 5.3トン	地区・町ごとで参加人数が全く違っており、住民自治協議会の設立に伴い、地域主導による活動の方向性も検討する必要があります。	市内の各会場(小学校・地域センター等)を拠点に、市民、事業者及び行政が一体となって統一キャンペーンを実施し、環境美化意識の高揚を図ることを目的に、ごみの回収ウォークを行います。	
5		【廃棄物対策課】 環境教育(広報・HP等)に関する事	1 出前講座を開催 ① 出前講座 開催 39回(参加者 1,446人) ② 減量啓発DVD貸出・インターネット配信 ③ 広報紙への連載・ホームページ配信	今後も継続実施します。	学校に対して本市の施策及び排出されるごみの行方についての説明やバックカーの見学などを行います。また、それらに関連する情報をホームページに掲載します。ごみを捨てにくい環境・意識づくりを進めるとともに、市民団体等への活動を支援する仕組みを検討します。	
6		【指導課】 環境美化教育	○学校の魅力アップ事業 小学校5校(西志和、板城、川上、志和堀、上黒瀬)、中学校7校(高美が丘、磯松、松賀、黒瀬、豊栄、河内、安芸津)の計12校が、学校の魅力ある教育活動を支援する魅力アップ事業を活用し、緑化活動や掲示の工夫を行いました。 取り組みを通して、児童生徒の美しい学校環境づくりに対する参画意識や成就感を持たせ、植物を愛する心情も育てることができました。また、技術科の栽培の授業を中心に育てた菊や花は文化祭等で展示し、学校の教育活動を地域へ発信しました。生徒作品は保護者・地域の方から絶賛されました。 このように、取り組みを通して、学校等の環境美化に貢献するだけでなく、保護者、地域にも取り組みを発信することで、環境美化への意識を高めることができました。		○学校の魅力アップ事業の取組 平成27年度も、小学校、中学校が、学校の魅力ある教育活動を支援する「魅力アップ事業」を活用し、環境の整った美しい学校及び地域づくりを目指す取り組みを行います。取り組みを通して、豊かな心の育成を図る特色ある取り組みを実践する予定です。	
7	市民	【団体】 宮の浦ハイツ調整池清掃	長年の懸案だった宮の浦ハイツ調整池の浮遊ごみ除去しました。地域のことは行政に頼りすぎずに解決しようという思いもあって、このような取り組みが生まれました。 ・参加者:地区民、自治協、公衛協(46人)			
8		【団体】 地域清掃活動	大型商業施設が多い地域であるという特性があることから、地域住民と事業者が一体となって、年に4回、地域の清掃活動を行っています。 年々ゴミの量も減少し効果を実感しています。			
9		【団体】 地域ボランティア～清掃活動～	毎月2回、部活動ごとに地域の清掃活動を実施したり、地域行事のあきつフェスティバルで清掃活動を行うなど、地域でのボランティア活動を行っています。 ※平成25年度キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰校			
10		【団体】 地域清掃活動「創立10周年記念地域クリーンキャンペーン」	地域清掃活動「創立10周年記念地域クリーンキャンペーン」として、日頃から自分たちが学校生活を送っている学校周辺(高屋地域)や西高屋駅からの通学路などの清掃を行っています。 この活動は、生徒たちが学校を中心とした地域、自然環境への恩返しをするとともに、地域のために活動することで、地域の方々に対する感謝の気持ちと自分の住む地域を愛する気持ちを育てることを目的としています。 ・参加者:○高校1・2年各クラス15名(美化委員を含む)の生徒 ○担任、保健部 ○校外清掃を希望する保護者 (事前アンケートで参加希望者を募る)			
11		【団体】 地域清掃活動	毎週水曜日にJR風早駅周辺と通学路の清掃活動を行っています。また、定期試験最終日には、さらに範囲を広げて学校周辺の清掃活動を行います。 平成26年度には、これらの活動に対して東広島市公衆衛生推進協議会から表彰を受けました。			
12		【団体会員】 クリーン太田川	地域内一斉清掃を行いました。 ・実施場所:東川・半川・関川 ・参加者:300人			
13		【団体】 神洗川の清掃	黒瀬町丸山区の住民が、地域を流れる神洗川の清掃を行っています。神洗川には、昔からホテルが生息していて、今でも、多くのホテルを見ることができます。このホテルを丸山区として末永く守るため、広島県のアダプト制度を導入して、活動しています。 また、きれいな川を守り続けるには、区民一人ひとりの協力が必要であるため、多くの区民に協力を呼びかけています。			
14		事業者	【事業者会員】 事務所周辺清掃作業	草刈作業を行いました。 ・参加者数:役職員10名 ・年3回実施		草刈作業を行います。 ・参加者数:役職員10名程度 ・年3回実施
15			【事業者会員】 工場周辺等清掃作業			昼休憩後30分を利用して従業員が周辺道路掃除を行います。 ・参加者数:80人(従業員) ・回数:4か月に1回
16			【事業者会員】 館周辺草刈作業			就業開始前約1時間程度幹部関係者が草刈り作業をします。 ・開催回数:春～秋に4回 ・参加者:館関係者

(12) 温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進

【取り組みの方向性(目標)】

- 地球温暖化防止、低炭素社会構築のための仕組みづくり
地球にやさしいライフスタイルへの転換など、市民一人ひとりの知恵と工夫により、地球温暖化の防止や低炭素社会を実現していくための効果的な仕組みづくりを目指します。
- 二酸化炭素吸収源対策の推進
適切な森林の育成・管理等により、温室効果ガスの大部分を占めている二酸化炭素の吸収源となる、森林の環境機能の保全を目指します。
- 地産地消の促進
地場農産物の販売促進や学校給食、飲食店での利用拡大等により、フードマイレージの削減にもつながる地産地消の促進を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【環境対策課】 地球温暖化対策地域協議会補助	○平成26年度補助実績 500,000円 ○エコネットひがしひろしまの主な活動 ・交流会の開催 ・ひがしひろしま環境フェア2014の共催 ・第24回生涯学習フェスティバルへの出展 ・緑のカーテンコンテスト、ストップ地球温暖化ポスターコンクール、省エネチャレンジコンテストを市と共催 ・衛生施設見学会の開催・企画交流合宿(世羅町)の実施 ・つつじの咲く里山づくりの共催 ・FM東広島での提供番組によるPR及び啓発 ・その他環境啓発イベントの共催	より啓発効果の高い事業を実施することが課題です。	市民・事業者・団体による地域温暖化対策の取組を活性化するため、東広島市地球温暖化対策地域協議会「エコネットひがしひろしま」に対する、活動費の一部補助を継続します。
2		【農林水産課】 ひろしまの森づくり事業	・森林所有者において除伐、間伐、下刈、植栽などが実施されました。 ⇒造林事業補助を実施した。:132.2ha ・荒廃人工林の再生に向けて間伐が行われました。 ⇒環境貢献林整備事業補助(間伐):29.6ha	今後も事業を継続していきます。	・森林所有者に対して除伐、間伐、下刈、植栽などに要する経費の一部を補助します。 ⇒造林事業補助(認定事業者への支援) ・放置され荒廃した人工林の再生に向けての取組を支援します。 ⇒環境貢献林整備事業補助(間伐)
3		【農林水産課】 農林水産物販路拡大推進事業	○推奨マーク使用者及び地産地消応援店の認定実績 ブランド推奨マーク使用者 5件 累計50件 地産地消応援店 2件 累計39件 平成26年度末78店(者) ○インターネット販路拡大事業 H26年度交付金対象者数:4件 ●参加イベント一覧 ・春の園芸まつり2014(園芸センター) 4月26日(土)4月27日(日) 出店数:12店 ・カーポラボ企画「東広島市PR隊」(広島市民球場) 7月5日(土) 出店数:2店 ・黒瀬ふれあい夏祭り(黒瀬生涯学習センター周辺) 7月26日(土) 出店数:2店 ・河内リバーサイドフェスティバル(棕梨川河川敷) 7月27日(日) 出店数:1店 ・どまんなか豊栄ヘソまつり(豊栄ふれあいグラウンド) 8月2日(土) 出店数:2店 ・2014シャープサマーフェスティバル(シャープ本部) 8月2日(土) 出店数:4店 ・アンデルセン小谷SA地域物産展(小谷SA(上り線)) 8月9日(土)8月10日(日) 出店数:3店 ・カーポラボ企画「広島臨空広域都市圏PR隊」(広島市民球場) 9月20日(土) 出店数:1店 ・アクアフェスタin福富(道の駅湖畔の里福富) 10月4日(土)10月5日(日) 出店数:1店 ・ひろしまフードフェスティバル(広島城周辺、広島中央公園) 10月25日(土)10月26日(日) 出店数:8店 ・火とグルメの祭典あきつフェスティバル(安芸津市民グラウンド) 10月25日(土)10月26日(日) 出店数:3店 ・広島大学ホームカミングデー(広島大学東広島キャンパス) 11月1日(土) 出店数:9店 ・第24回東広島市生涯学習フェスティバル(運動公園体育館) 11月1日(土)11月2日(日) 出店数:3店 ・第13回ビジネスフェア中四国2015(広島市中小企業会館総合展示館) 2月6日(金)2月7日(土) 出店数:2店 ・春の西条醸華町まつり(JR西条駅周辺) 3月7日(土) 出店数:10店	引き続き事業を行い、農業者の所得向上に繋がる取り組みを行います。	○東広島ブランド推奨マーク(ゆめまる)による地産地消の推進及び販路拡大を行います。 ○インターネットを活用した農林水産物の販路拡大事業とイベント参加による地産地消の推進を行います。 ○スーパーでの東広島産農林水産物のPR及び販路拡大を行います。
4		【学事課】 学校給食での地場農産物の活用	○各学校給食センターにおける地元食材使用状況調査の実施 平成26年度実績値(重量ベース) 主要野菜10品目 21.0%+米 53.2% (※JA広島中央・JA芸南から納入された野菜を全て市内産として積算) 産業界(農林水産課・園芸センター)との協議による情報共有と関係機関(JA、市場等)との連携により、学校給食で使用する地元食材の種類と量が増加しました。 東広島学校給食センターへのJA芸南の冬キャベツの納入について、JA芸南、市場(東広島青果)と連携することにより、東広島流通センターを経由した新たな納入ルートを構築することができました。	○地元食材の量の確保(JA等との連携) ○食材の納入体制の整備(東広島流通センターの活用等) ○地元食材の使用に係る指標の見直し(東広島市食育推進計画と連動)	1 データ収集・分析 (1)データ収集を行う品目の精査 (2)各学校給食センターへの照会 (3)収集したデータの分析 2 分析結果を踏まえて、取組内容を関係課と協議 3 進捗状況の把握と次年度の取組の方向性決定
5		【企画課】 モビリティマネジメントの推進	H26年に計画策定業務を発注し、地域別の交通特性整理及び実施地域(適地)の選定を行いました。策定業務については、H27年度に繰越しています。	自家用車から徒歩・自転車を含む公共交通へ自発的に転換を促すための取組みであるモビリティ・マネジメントは、住民、事業所、学校など幅広い団体との連携・協働が必要であり、特に運輸部門の二酸化炭素排出量の削減の取組みとして、環境分野に関連する施策と一体的に展開することが効果的と考えています。	実施計画を完了後、東広島市地域公共交通会議(市、交通事業者、学識者、市民代表等で構成)が主体となり事業に着手します。
6		【環境対策課】 地球温暖化対策事業			

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
7	市民	【団体会員】 山のグラウンドワーク(第65回～第70回)	○森林整備 除伐・下刈り等:約14,000㎡ アカマツ林内の雑木の除伐・地拵え 約4,000㎡ ○炭焼き等 炭焼き準備(薪割り・窯詰め)カン材約150kg ○チップづくり等 材のチップ化体積:約15㎡ ○講座 木質バイオマス講義、「西条・龍王の名水」ガイドツアー ○バイオマス講習 「地球温暖化と木質バイオマス」佐藤高晴広島大准教授 ○第30回水郷水都全国会議東広島大会 見学35名 ・開催場所:東広島市憩いの森公園 ・参加者:一般市民・大学生・高校生・企業関係者・東広島学・キャンノンマーケティングジャパン、スタッフ等	作業エリア近くまでチップシャーレッターを持ち込むことができない場所が増え、材のチップ化量が大幅に減りました。	山のグラウンドワーク(第71回～第75回) ○森林整備 除伐・下草刈り、チップづくり等 ○整備エリアの植生調査 ○炭の窯だし計量 ○炭焼き ○ペレットづくり ○まき割り ○チップづくり ○講座 木質バイオマス講習、名水ガイドツアー(きき水体験)等 ○バイオマス講習 木質バイオマス講習「地球温暖化と木質バイオマス」佐藤高晴広島大准教授 ・開催場所:東広島市憩いの森公園 ・参加者:一般市民・大学生・高校生・企業関係者等
8		【団体会員】 第13回ひろしま「山の日」県民の集いinひがしひろしま(第66回山のグラウンドワーク)	○森林整備:除伐・下草刈り約6,000㎡、材のチップ化体積:約9㎡ ○講座:木質バイオマス講義、「西条・龍王の名水」ガイドツアー ・開催場所:憩いの森公園 ・参加者数:(整備)企業・大学・高校生・市民290人 (講習)125人		第14回ひろしま「山の日」県民の集いinひがしひろしま(第72回山のグラウンドワーク) ○森林整備(除伐・下草刈り、チップづくり等) ○木質バイオマス講習、名水ガイドツアー(きき水体験)等 ・開催場所:憩いの森公園 ・参加者数:整備約300人
9		【個人会員】 第13回ひろしま「山の日」県民の集い東広島会場	西条山と水の環境機構の運営委員として事務局事務・司会・指導を行いました。 ・開催場所:憩いの森公園 ・参加者数:一般(約200名) ・開催日:6月1日		第14回ひろしま「山の日」県民の集い東広島会場 西条山と水の環境機構の運営委員として事務局事務・司会・指導を行います。 ・開催場所:憩いの森公園 ・参加者数:一般(約200名)
10		【団体】 環境問題について考えよう!	4年生の児童達が、地球温暖化や、資源の再利用について、新聞で情報収集したり、市役所の先生からお話を聞いて学んだりしました。そこで学んだことを元に、自分たちにできることをみんなで考えて、地球温暖化防止のためにグリーンカーテンを育てたり、省資源やCO2の削減になるよう、飲み終わった牛乳のパックをリサイクル工場へ持ち込みました。リサイクル工場では、牛乳パックがリサイクルされる様子を見学しました。		
11		【事業者会員】 苗木の植樹による森林整備活動	小学生や地元住民が行う森林整備活動に参加し、植樹作業指導を行いました。 ・開催場所:西条町田口 ・参加者:郷田小学校、地元住民等 ・開催日:年間2回		
12		【事業者会員】 苗木の植樹や間伐による森林整備活動	民間企業や地元住民が行う森林整備活動に参加し、植樹・間伐作業指導を行いました。 ・開催場所:長寿の森(八本松町吉川) ・参加者:民間企業、地元住民等 ・開催日:年間2回		民間企業や地元住民が行う森林整備活動に参加。植樹・間伐作業指導を行います。 ・開催場所:長寿の森(八本松町吉川) ・参加者:民間企業、地元住民等
13		【団体】 地産地消フェスティバル出店・給食メニューの考案	西条農業高校の畜産科の生徒が、自校ブランド豚肉「西農ポーク」を使った商品を販売しました。また、西農ポークを使ったソーセージ「SAINOポークZ」を使った給食メニューを八本松学校給食センターとコラボして考案するなど、地産地消に取り組んでいます。		
14		【団体】 進めよう地産地消	地産地消を進めるために小学5年生の児童が自分達で考えた取り組みです。平成25年度は腐葉土作り、平成26年度は春から夏にかけて学校内の菜園で野菜(小松菜、人参、大根、サラダ菜、インゲン豆等)を育て、ポプラ入野店の地産地消コーナーへ出荷し、地産地消を進めました。		
15		【団体】 SAINOポークZ	西条農業高校・八本松中学校の両校がコラボレーションして、西条農業高校のブランド豚肉「SAINOポークZ」を使った商品の販売や、給食への提供を行いました。 ・実施者:西条農業高校・八本松中学校		
16		【団体会員】 Earthbag house seminar・バンパーハウスワークショップ	○Earthbag house seminar アースバッグハウスについて発表し、この作り方の課題について議論を行ったり、グループワークによって多様な考え方をシェアしました。 ・開催場所:広島大学 ・参加者:社会人・(留)学生 述べ55名 ○バンパーハウスワークショップ アースバッグハウスワークショップの時に、休憩所として使うところを作りました。 ・開催場所:上ノ原牧場カドーレ ・参加者:地域の住民・(留)学生		アースバッグハウスワークキャンプ #1 アースバッグハウスをつくります。 ・開催場所:上ノ原牧場カドーレ ・参加者:地域の住民・(留)学生

(13) 新エネルギーの導入

【取り組みの方向性(目標)】

○新エネルギーの導入の推進

東広島市に適した新エネルギーの導入やエネルギーの地産地消を推進し、低炭素社会の実現を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定																								
1		【環境対策課】 住宅用太陽光発電システム設置費補助	○平成26年度住宅用太陽光発電システム補助実績 交付件数合計: 366件 交付金額合計: 16,470千円 (45,000円/件)		住宅用太陽光発電システム設置費補助金要綱を全部改正し、環境先進都市ビジョンの推進と東広島市脱温暖化プランに掲げる民生家庭部門の二酸化炭素排出量の削減に向けた、より総合的な補助制度を構築します(スマートハウス化支援補助金)。																								
2		【環境対策課】 スマートハウス化支援補助及び薪ストーブ・木質ペレットストーブ設置補助		平成28年度以降の支援については、設置にかかる市場価格の動向や地域の普及状況を見ながら検討していきます。	○住宅のスマートハウス化支援を目的とした設備の設置に係る経費に対して補助を行います。補助対象設備及び補助額等の詳細については、次のとおりです。 ・募集期間:平成27年4月17日～平成28年2月29日 <table border="1"> <tr> <th>補助対象設備</th> <th>補助上限額及び補助率</th> <th>補助見込件数</th> </tr> <tr> <td>①住宅用エネルギー管理システム(HEMS)</td> <td>上限額 5,000円 (補助対象経費の2分の1)</td> <td>380件</td> </tr> <tr> <td>②太陽光発電システム</td> <td>上限額 45,000円 (補助対象経費の20分の1)</td> <td>280件</td> </tr> <tr> <td>③定置用リチウムイオン蓄電システム</td> <td>上限額 100,000円 (補助対象経費の10分の1)</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td>④家庭用燃料電池システム</td> <td>上限額 100,000円 (補助対象経費の10分の1)</td> <td>20件</td> </tr> </table> ※太陽光発電システム、定置用リチウムイオン蓄電システム及び家庭用燃料電池システムの補助については、HEMSとあわせて設置すること、又はHEMSが既設であることが条件となります。 ○木質バイオマスを活用した薪ストーブ及び木質ストーブの設置に係る経費に対して補助を行います。補助対象設備及び補助額等の詳細については、次のとおりです。 ・募集期間:平成27年4月17日～平成28年2月29日 <table border="1"> <tr> <th>補助対象設備</th> <th>補助上限額及び補助率</th> <th>補助見込件数</th> </tr> <tr> <td>薪ストーブ (二次燃焼機能を有するもの)</td> <td>上限額 30,000円 (補助対象経費の10分の1)</td> <td>30件</td> </tr> <tr> <td>木質ペレットストーブ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	補助対象設備	補助上限額及び補助率	補助見込件数	①住宅用エネルギー管理システム(HEMS)	上限額 5,000円 (補助対象経費の2分の1)	380件	②太陽光発電システム	上限額 45,000円 (補助対象経費の20分の1)	280件	③定置用リチウムイオン蓄電システム	上限額 100,000円 (補助対象経費の10分の1)	45件	④家庭用燃料電池システム	上限額 100,000円 (補助対象経費の10分の1)	20件	補助対象設備	補助上限額及び補助率	補助見込件数	薪ストーブ (二次燃焼機能を有するもの)	上限額 30,000円 (補助対象経費の10分の1)	30件	木質ペレットストーブ		
補助対象設備	補助上限額及び補助率	補助見込件数																											
①住宅用エネルギー管理システム(HEMS)	上限額 5,000円 (補助対象経費の2分の1)	380件																											
②太陽光発電システム	上限額 45,000円 (補助対象経費の20分の1)	280件																											
③定置用リチウムイオン蓄電システム	上限額 100,000円 (補助対象経費の10分の1)	45件																											
④家庭用燃料電池システム	上限額 100,000円 (補助対象経費の10分の1)	20件																											
補助対象設備	補助上限額及び補助率	補助見込件数																											
薪ストーブ (二次燃焼機能を有するもの)	上限額 30,000円 (補助対象経費の10分の1)	30件																											
木質ペレットストーブ																													
3		【消防総務課】 太陽光発電	太陽光発電設備の利用により、二酸化炭素の歳出削減を行いました。 発電量(H26年4月～H27年3月) 15388.8kWh	継続して利用します。	自然環境に配慮して、屋上に10kwのソーラーパネルを設置し、二酸化炭素排出削減を推進します。																								
4		【管財課】 新エネルギー施設の整備	平成26年度は、太陽光パネルによって15,300kWh(直流電力量)の発電を行いました。	引き続き太陽光による発電を行います。	引き続き本庁舎本館屋上に設置した太陽光パネルで発電を行います。																								
5	市	【学事課】 学校給食センターから出る廃食用油の再資源化	○学校給食センターから出る廃食用油の量や処理方法 平成26年度回収数量 19,096リットル 回収業者名 株式会社アクセス(東広島市安芸津町風早) ○回収廃食用油は業者により、バイオディーゼル燃料として利用	引き続き、学校給食センターから出る廃食用油について、バイオディーゼル燃料として活用することの継続化を図る。	1 学校給食センターから出る廃食用油の量や処理方法等の調査及びデータ収集 (1)学校給食センター及び廃食用油回収業者への照会 (2)収集したデータや処理方法に関する分析・考察 2 考察を踏まえ、バイオディーゼル燃料として活用することの継続化を図ります。																								
6		【教育総務課】 小学校新設事業	基本設計完了 基本設計において太陽光発電システムの導入を計画 ①設計実施校数:1校	今後も改修工事や新築工事等で積極的に対応していきます。	実施設計着手 ①設計実施校数:1校																								
7		【生涯学習課】 「東広島芸術文化ホール(くらら)」への太陽光発電設備等の設置工事		平成27年度で整備する太陽光発電設備等の活用(再生可能エネルギーの利用)により、平常時に必要な電力の一部を賄うことで光熱費及びCO2の削減を図ります。また、あわせて設置する蓄電池を活用して昼間に発電した電気を蓄電池に貯め、災害時に避難施設として必要となる照明器具や通信機器等の電力を確保します。	○平成27年11月末に太陽光設備等の設置工事完了 (工事概要(予定):太陽光発電30kw、蓄電池33.7kw) ○平成27年12月から使用開始(平成28年4月の開館に向けた各種準備で建物を使用) ○平成28年4月1日開館 ※本格的な運用は供用開始日の平成28年4月1日より開始。																								
8		【管財課】 公共施設への太陽光発電の導入	○平成26年度、本庁舎本館に設置した太陽光パネル(10kWh)では、約15,300kWhの発電を行いました。 ○福富支所に設置した太陽光パネル(20kWh)では、約20,000kWhの発電を行いました。 ○太陽光パネルを公共施設の屋根等に設置して発電を行う事業者を公募により選定しました。	公共施設における太陽光パネルの設置等を含む新エネルギー機器の導入については、今後も取り組みを進めていく方針ですが、再生可能エネルギー買取価格の低下により、民間主体では事業化が困難になることが懸念されます。	引き続き、本庁舎本館並びに福富支所に設置した太陽光パネルで発電を行います。 また、平成26年度に太陽光パネルを公共施設の屋根等に設置して発電を行う事業者を公募し選定したところであり、平成27年度以降、8校の小中学校を含む比較的新しい19の公共施設において、順次太陽光パネルを設置することとしています。																								
9		【地域政策課】 清武西地域センターペレットストーブ導入			暖房器具を必要とする時期の前(10月中)に導入を行います。																								
10		【農林水産課】 間伐材等利用可能性調査業務		○山林等からの材搬出のシステムづくり(自伐林家の養成等) ○木質バイオマス(ペレットやまき、菌床、堆肥化等)の有効活用に係る仕組みの構築 ○山林から排出される材の需要と供給	○取組方針 市内の森林資源量及び活用手法等の可能性調査を行うとともに、森林所有者自らが伐採、搬出、出荷する「自伐林家」を養成し、間伐材等を活用していきます。 ○実施内容等 委託により、次の調査項目等を実施します。 ・木質バイオマス利活用動向調査 ・森林資源量調査 ・木質バイオマス燃料化可能性調査 ・木質バイオマス需要動向調査 ・自伐林家養成研修																								
11	市民	【団体】 集会場への太陽光パネル設置	毎週行っている朝市や盆踊りなどの地域イベントの会場となっている集会場の屋根に太陽光パネルを設置しました。海沿いで日照時間が長い地域のため、パネルによる発電や、売電によって光熱費を賄うことができ、余った売電益は集会場の維持費に回すことができます。																										
12	事業者	【事業者】 コージェネレーションシステム(CGS)の導入	省エネや二酸化炭素の排出量削減を目的として、自社に設置している発電機からの排熱を冷凍機などに有効利用するCGSを稼働させています。 ※コージェネレーションシステム:発電と同時に原動機の排ガスや冷却水の熱を蒸気または温水として取り出し、冷暖房に使用するなどして、エネルギー効率を高めるシステムのこと。																										

(14) 省エネルギーの推進

【取り組みの方向性(目標)】

○省エネルギー活動の推進
市民一人ひとりがライフスタイルを見直し、日常生活や事業活動における省エネルギー活動を推進することにより、低炭素型社会の実現を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1		【危機管理課】 防犯灯設置管理業務	①防犯灯をLED化しました。 LED防犯灯への取替(3,250基) ②防犯灯設置工事を行いました。 通学路整備事業(15基)及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(20基) ③防犯灯設置費補助金を交付しました。 地域要望に基づくLED防犯灯設置費補助(114基)	①防犯灯のLED化については、平成24年度から平成27年度の計画であり、平成27年度で完了予定です。 ②防犯灯設置工事(通学路整備事業及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業)及び③防犯灯設置費補助金の交付については、継続して実施する予定です。	①防犯灯をLED化します。 LED防犯灯への取替(約2,700基) ②防犯灯設置工事を行います。 通学路整備事業(予定19基)及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(予定10基) ③防犯灯設置費補助金を交付します。 地域要望に基づくLED防犯灯設置費補助(予定97基)
2		【保育課】 新エネ、省エネ先導的モデル実証実験枠モデル事業[保育所の屋根への遮熱塗料の塗布]	外気温に対する遮熱塗料を中黒瀬保育所の屋根に塗布し、その効果を検証しました。 ・平成26年度の夏(6~8月)は平年並みの気温であり冷夏とはされていないが、平成25年度の夏は全国的に気温がかなり高い状態にありました。 ・保育所職員の体感では明確な効果は判断できませんでした。 ・平成25年度と平成26年度の5~11月の電気使用量の比較は次のとおりでした。 (遮熱塗料の塗布作業は7月1日までに終了しているため、7月2日以降の効果を検証しなければなりません。) H25.5月とH26.5月 -446kWh(-9.48%減) H25.6月とH26.6月 -51kWh(-1.20%減) H25.7月とH26.7月 -783kWh(-13.55%減) H25.8月とH26.8月 -1,423kWh(-16.94%減) H25.9月とH26.9月 -1,354kWh(-17.55%減) H25.10月とH26.10月 -182kWh(-3.58%減) H25.11月とH26.11月 -542kWh(-12.14%減) ・これらのことより、平成26年度実施の本事業の成果について、電気使用量においては7月~9月の削減率が高いため一定の効果があったと考えられるものの、平成25年度の気温が相当に高かったためその影響はあるものと考えます。		
3		【教育総務課】 小学校新設事業、小学校大規模改造事業、小学校施設改修事業、中学校大規模改造事業	①新設事業(新築工事設計)基本設計完了 設計実施校数:1校 ②大規模改造事業(耐震補強工事設計)設計完了 7校設計の内、5校対応(導入)済 導入校:三津小、風早小、八本松中、高屋中、安芸津中 ③施設改修事業(改修工事設計)設計完了 1校設計の内、1校対応(導入)済 導入校:旧小松原小	今後も改修工事や新築工事等で積極的に対応していきます。	設計に際し便所等へのLED照明の導入を検討 ①新設事業(新築工事設計)実施設計 設計実施校数:1校 ②大規模改造事業(耐震補強工事設計) 設計実施校数:1校
4		【消防総務課】 省エネルギー	屋上緑化、LED照明等の使用により、省エネルギー化に努めました。	継続して利用します。	屋上に約100㎡の緑化を行い、また、エネルギー効率の高いLED照明を採用し、空調機器では深夜電力を利用した水蓄熱や床輻射熱冷暖房設備を採用することにより、省エネルギー化を推進します。
5	市	【管財課】 市役所新庁舎の建設	冷暖房の集中管理を行う等、効率的な運用によって、電力使用量を抑制しました。 空調効率を上げるため、議会事務局長室に複層ガラス工事を実施しました。	本館1階2階の空調効率を上げ、電気使用料を抑制するために、外気侵入を防止することが課題となっています。	引き続き、電気機器を効率的に運用し、電気使用量を削減しつつ、機器の集約と必要数の見直しを行います。
6		【住宅課】 住宅性能表示制度の普及	○住宅性能表示制度及び省エネルギー型住宅に関する案内パンフレットを窓口に置き情報発信をしました。併せて市HPIに掲載し情報発信を行いました。 ○住宅リフォームに関するパンフレットを窓口に置き情報発信を行いました。 ○ひろしま住まいづくり支援ネットワークの活動として、環境フェアで資料展示を行いました。(来場者:83名) リフォーム事例として、ひろしま住まいづくりコンクール作品のパネル展示を市庁舎に於いて行いました。 市民等を対象として住宅リフォームセミナーを開催しました。(参加者:53名)		○市民・民間事業者に対し、関連機関などと連携し住宅関係の様々な情報発信を行います。 ○安心・安全な住まい、住環境づくりのため、市民の方々が自らの住宅の質に関心を持ち、工務店等の住宅関連事業者による住宅の質の向上を促すような情報発信を行います。 ○ひろしま住まいづくり支援ネットワークでの活動を行います。
7		【環境対策課】 ライトダウンキャンペーンの後援	○ライトダウンキャンペーンの後援 目的:光害の抑制や節電に関する啓発 主催:ライトダウンin東広島2014実行委員会 後援:エコネット東広島・東広島市など 星を見る会の実施 日時:平成26年7月25日(金) 19時30分から21時00分まで 場所:東広島市立西条小学校グラウンド、屋内運動場 来場者数:約470名 内容:東広島児童合唱団による星空コンサート、広島大学宇宙科学センター教授による天文・光害の話、天文・光害に関するクイズ大会及び景品抽選会、グラウンドでの天体観測 ○ライトダウンへの協力要請等 協力要請:127件(店舗、事務所など) ポスター送付:186件(事務所、金融機関など) チラシ配布:小学校、住民自治協議会を通じて配布	今後も継続して開催し、地域の事業者や個人への周知を進めながら、光害の抑制や節電の啓発を行っていきます。	○ライトダウンキャンペーンを実施します。 主催:ライトダウンin東広島2015実行委員会 日時:平成27年8月8日(土) 18時30分から21時30分まで 場所:東広島市立西条小学校グラウンド、屋内運動場 内容:合唱団によるコンサート 広島大学宇宙科学センター教授(仮)による天文・光害の話 天文相談コーナー(仮) グラウンドでの天体観測
8		【人権推進課】 黒瀬文化会館 空調機修繕 (「新エネ、省エネ先導的モデル実証実験枠」採択事業)			○老朽化した既存の空調機(6台)を2015年省エネ基準値クリア商品(5台)に更新します。 ○これにより、使用電力を7.951kwh/年削減できる見込みです。 ○条件付き一般競争入札により、空調機更新に係る修繕請負契約を締結し、平成27年度秋ごろには更新を完了予定です。
9		【地域政策課】 御園宇地域センター空調機器更			空調機の使用が減少する時期(9月下旬~10月中旬)に更新を行います。 更新後、使用時期の電力消費量を過去のデータと比較し、効果を記録します。
10		【管財課】 公共施設の電力使用量抑制	○冷暖房の集中管理を行う等、効率的な庁舎設備の運用によって、電力使用量を抑制しました。 ○空調効率を上げるため、議会事務局長室の窓ガラスを複層ガラスにしました。	引き続き、適切な時期における機器の集約及び見直しを図り、効率的な運用を推進します。	庁舎については、電気機器を効率的に運用し、電力使用量の抑制に努めるとともに、機器の集約と必要数の見直しを行います。 また、新たに福富支所にシーリングファンを設置し、空調機器の使用時におけるエネルギー消費量の削減を図ります。
11	市民	【団体】 ワットモニタータップの貸出し	使用中の電化製品の、①消費電力、②積算電気料金、③積算電力量などが一目でわかる「ワットモニタータップ」を各家庭に貸出し、省エネに取り組んでもらいました。		
12		【団体】 省エネミニ学習会	竹仁小学校の高学年の児童や、地域住民の方、小学校の先生方と一緒に省エネミニ学習会を開催しました。 「家電がどのくらい自分の家にあるのか?」「どのくらい電力を必要とするのか?」「電球によって、必要な電力の違いはあるのだろうか?」などのお話を、講師の市民協働センターの方にいただきました。 エネルギーを節約することが、環境にどう関係するかを、これからも地域で考えていきます。		
13	事業者	【事業者】 ボイラーの運転効率化によるエネルギー使用量の低減	生産工程に欠かせない設備であるボイラー設備に着目し、次のような省エネルギー活動を進めてきました。 ①ボイラーの無駄な燃焼をなくすため、モーターバルブの動作回路を変更し、止めているラインへ蒸気が流れないようにしました。 ②ボイラーへの給水や蒸気の温度低下防止のため、給水タンクや蒸気配管の露出箇所への保温材の取り付けを末端まで実施した。また、取り付け方法の作業マニュアルを作成し、誰でも同じ様に取り付けできるよう教育しました。 この結果、灯油原単位は約35%の削減、年間CO2排出量は約4.84tの削減ができました。 ※ 平成25年度省エネ大賞 省エネ事例部門 省エネルギーセンター会長賞受賞		

(15) 低炭素社会形成に寄与する事業の促進・支援

【取り組みの方向性(目標)】

- 環境ビジネスや環境に配慮した産業活動の展開
環境ビジネスの起業や環境配慮型の産業活動を展開し、環境負荷の低減や低炭素社会の形成を目指します。
- 東広島産環境ビジネスの創出
大学や試験研究機関、先端技術企業等、様々な産業が集積する「国際学術研究都市」としての強みを活かして、独創的・先進的な「東広島産環境ビジネス」の創出を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【産業振興課】 産学金官の連携促進	<p>【東広島発！ものづくり逸品認定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年7月15日に審査会を開催し、6つの製品を新たに認定しました。 (※平成26年度については、環境関連製品の認定はなし。) <p>【環境関連製品・技術等開発促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年6月26日、9月2日に審査会を開催し、4つの研究開発テーマに対し交付決定しました。 (※2件、環境関連分野での研究開発テーマとして交付決定。) ①交付決定企業：東広島商工会議所(軽量タウンカー研究会) 研究開発テーマ：シニアカーにできる電動三輪車の開発 ②交付決定企業：東広島商工会議所(モータ・ジェネレータ研究会) 研究開発テーマ：独自構想電動補機類の制作と実用化技術の研究開発 ③交付決定企業：株式会社メセナ 研究開発テーマ：ソーラーパネルを利用し自立稼働を可能とする湖水浄化装置の開発 ④交付決定企業：株式会社コーポレーションパルスター 研究開発テーマ：快適な着用を可能とする畦(あぜ)編み技術を用いた医療用靴下の開発 	<p><東広島発！ものづくり逸品認定></p> <ul style="list-style-type: none"> 7月30日に審査会を開催し、6つの製品を新たに認定しました。(※1件、直接環境対応関連の認定製品あり。) 認定企業：株式会社メンテックワールド 認定製品名：粉塵抑制装置(ダストバスタ・ミストネット) <p><環境関連製品・技術等開発促進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 6月26日に審査会を開催し、5つの研究開発テーマを交付決定した。(※3件、環境関連分野での研究開発テーマとして、交付決定。) ①交付決定企業：東広島商工会議所(モータ・ジェネレータ研究会) 研究開発テーマ：独自構想電動補機類の制作と実用化技術の開発 ②交付決定企業：株式会社HIVEC 研究開発テーマ：循環型社会への貢献を目指した全自動パルス方式鉛バッテリー再生・充電装置開発 ③交付決定企業：株式会社輝陽 研究開発テーマ：低塩素RPF(Refuse Paper&Plastic Fuel)製造技術の研究・開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○東広島発！ものづくり逸品認定(産学金官連携等によって生まれた優れた製品を認定します。) ○環境関連製品・技術等開発促進事業(環境関連及び医療・福祉分野の新製品又は新技術等の開発に係る経費を助成します。)
2		【個人会員】	<p>卒業研究として薪ボイラーを市内の2カ所の社会福祉施設に導入するシミュレーションを行っていただきました。各施設から毎月の燃料使用量のデータをいただき、薪の必要量、ボイラーの必要な出力を割り出し、代理店やコンサルタント会社から日本で手に入る薪ボイラーの性能、価格を教えてもらい、最適なボイラーを導入した場合の課題を調べました。</p> <p>その結果、全面的に建て替える際に導入する施設では、薪を森林組合で製造したとしても10年程度で投資が回収でき大きなメリットがありますが、最近設備更新した施設では、それに木質バイオマスのボイラー設備を付加することになり、メリットを出すためには、施設での薪製造や、バックアップボイラーの使用の抑制などの厳しい条件がつくことが明らかになりました。</p> <p>なお、これを論文としてまとめたものは、平成25年度に、東広島市や大学などでつくられている「学園都市づくり交流会議」において、地域課題研究懸賞論文表彰を受けました。</p>		
3	事業者	【個人会員】 小型ペレットの試験的稼働	<p>セブンイレブンみどりの基金で西条山と水の環境機構が導入した小型ペレットについて、含水率を調整したチップを投入することによって安定的なペレットの生産を可能にしました。</p> <p>・実施場所：いこいの森公園</p>	ペレットの供給先が確保されてない。	ペレットの原料を農業残渣などに広げて試みると共に、ペレット供給先の検討を行います。 ・実施場所：いこいの森公園
4		【団体会員】 東広島リサイクルショップ	<p>資源愛護の啓発。ゴミの減量を図る。市民より不用品の提供を受け、一般市民に提供する。</p> <p>・実施場所：西条町寺家2742 ・対象者：市民</p>		
5		【事業者】 自社の生乳を使用した加工品の商品開発	<p>自社の牧場で搾乳した生乳から、牛乳をはじめ、プリンやジャム、ジェラート等の、加工製品のほか、牛乳と地域食材を使った、みるくカレーやポタージュ、ミネストローネ、みるくラーメン等、地域産品を生かしながら商品開発を行いました。</p> <p>また、直売所などでこれらの商品の販売を行い、お客様に喜んでもらいながら、地産地消に貢献しています。このように、当社では、生産から加工・販売までを一体的に取り組む六次産業化を進めることにより、環境負荷の低い産業活動を行っています。 (平成23年度 六次産業化法に基づく認定)</p>		

(16) 地域を越えた連携と国際的な協力の推進

【取り組みの方向性(目標)】

- 市内における連携・協働
市内各地での個別の取り組みを、地域や業種の枠組みを越えた連携・協働した取り組みに拡充し、より効果的な取り組みの展開を目指します。
- 広島県や近隣自治体等との連携・協働
広島県や隣接市町と連携・協働した取り組みにより、共有する環境の保全や環境に関する共通の課題の解決を目指します。
- 国際的な連携・協働
産学官民が連携した積極的な国際協力の取り組みにより、地球温暖化の防止などの地球環境問題の解決に寄与することを目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【環境対策課】 環境フェア開催補助	<p>○ひがしひろしま環境フェア開催概要</p> <p>1 日 時 平成26年7月26日(日) 10:00~16:00</p> <p>2 場 所 道の駅湖畔の里福富</p> <p>3 実施主体 主催: ひがしひろしま環境フェア実行委員会 共催: 東広島市、エコネットひがしひろしま、西条・山と水の環境機構 後援: 東広島市教育委員会</p> <p>4 内 容</p> <p>①ステージイベント 演奏や環境保全に関わる演目を通じて、環境保護への関心を高める。 ・TSSスーパーニュース出演 気象予報士 波田健一氏『仁義なき地球温暖化 福富から始めよう』 ・広島大学教授 中坪孝之氏『地球温暖化の最新知見—IPCC第5次評価報告書のエッセンス』 ・中国電力エネルギー研究所『液体窒素の不思議な世界』 ・いのちと環境をテーマにしたコーラス ・ダンスパフォーマンス</p> <p>②体験・発表・販売ブース 25団体・事業者が出展。 環境に関わる活動に取り組んでいる団体や事業者の活動をPRするとともに、来場者に実体験してもらう。 ・夏休みの自由研究相談コーナー ・環境にやさしい工作体験 ・動物とのふれあい(アイガモレース) ・家庭のエコライフ診断 ・低公害車の展示</p> <p>○来場者数 2500人 ○平成26年度補助額 2,100,000円</p>	来場者数増、市域全体へのPRが課題。より啓発効果の高いイベントにするため企画を検討することが必要です。	市民、事業者に広く「環境保全」についての関心と理解を深めるため、市民体験型、市民参加型で行う環境イベントに対する補助を継続します。
2	市	【廃棄物対策課】 ごみ減量化及び資源化の推進	<p>1 使用済小型家電の回収事業の導入 国の実証事業として実施し、約2.4トン回収(11月~2月の4ヶ月)</p> <p>2 広島中央環境衛生組合管内での連絡調整 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議しました。</p>		<p>1 使用済小型家電の回収事業の導入 国の実証事業から市の正式な事業として実施します。</p> <p>2 広島中央環境衛生組合管内での連絡調整 東広島市、竹原市、大崎上島町の2市1町が連携して、今後のごみの減量施策等について協議します。</p>
3	市	【企画課】 国際化推進事業	<p>中南米地域を対象とした「排水処理技術」コースを、平成26年9月8日~10月31日までの54日間に渡り実施しました。研修員は、ボリビア、ブラジル、コスタリカ、エクアドル、メキシコ、パナマ、ペルーの7ヶ国から8名が参加しました。大学、企業、地域住民のほか、本市関係部局(下水道部、生活環境部、教育委員会)等の協力のもと、講義や施設見学を通して様々な処理技術を学んだほか、住民活動や環境教育についての科目もあり、研修員から高い評価を得ました。</p> <p>研修員は、研修中に成果物として、自国又は所属組織の抱える課題解決に有益であると思われる内容をまとめ、所属組織へ伝えるためのアクションプランを作成しており、帰国後、アクションプランを活用して自国において普及活動を行いました。</p>	<p>国際協力の必要性についての共通認識を持つ必要があります。</p> <p>研修員の帰国後の活動について、継続して行える仕組みをJICAが考える必要があります。</p>	<p>「排水処理技術」コースを3か年計画で実施しており、平成27年度は3期目を実施します。</p> <p>中南米地域で排水処理施設の計画、運転、維持管理を所掌する中央、地方政府もしくは関連公共団体において、処理施設の管理・運営を担当する部署に所属している技術者を対象とした、排水処理技術に係る研修を実施します。</p> <p>日本における排水処理の制度及び技術に関する講義や施設の見学を通じて、自国の状況に適した排水処理対策を立案・実施するために必要な知識・技術の習得を支援します。また、それらの知識・技術が自国において共有されるよう、研修で習得した知識・技術を踏まえ、自国の下水道等排水処理システムの改善に向けたアクションプラン(業務改善提案書)を作成し、自国で普及させることを目的として実施します。</p>
4	市民	【団体】 ふるさと探検黒瀬川	<p>学校の近くを流れる黒瀬川に入り、川に棲む生き物調査をしました。また、川の汚れの原因、川をきれいにするためにできることをみんなで考えて発表しました。発表は中南米から来られたJICAの研修生の皆さんにも聞いていただき、交流することができました。</p>		
5	市民	【エコネットひがしひろしま】 緑のカーテン講習会			<p>緑のカーテンの育て方のコツを学ぶことのできる講習会を開催します。</p> <p>・対象者: 会員・一般(30名程度)</p> <p>・開催場所: 市民協働センター</p>

(17) 学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進

【取り組みの方向性(目標)】

○あらゆる世代の環境教育・環境学習の推進

学校や家庭、事業所、地域における環境教育・環境学習を推進し、環境に配慮したライフスタイルや事業活動があたりまえのこととして実践される社会の形成を目指します。

○環境教育・環境学習に関わる人材の育成

環境教育・環境学習を支え、地域の環境保全活動のリーダーとなる人材の育成を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1		【環境対策課】 環境教育の推進、省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座 榎原さくら会、東西条小学校、高美が丘中学校にて、出前講座を実施しました。 ○小中学生を対象にしたポスターコンクール ・応募数 小学校部門170点(13校) 中学校部門33点(4校) 計203点 ・表彰 市長表彰:優秀賞各部門3点、入選各部門7点 エコネット表彰:優秀賞各部門3点 ○緑のカーテンコンテスト ・応募数 個人13点 事業者3点(公共施設9点) 計16点 ※公共施設は審査対象外 ・表彰 市長表彰:最優秀賞1点、優秀賞2点 エコネット表彰:エコネット大賞1点、エコネット賞2点 ○公共施設緑のカーテン推進 設置数・・・58施設 (庁舎関係11、地域センター9、保育所10、いきいきこどもクラブ4、幼・小・中学校18、図書館等6) ○省エネチャレンジコンテスト ・省エネナビ賞与台数 5台 ・コンテスト応募者数 17名、削減率上位者3名を表彰 	応募者数を増やすためコンテストに応募しやすいしくみを検討することが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座の実施 一般市民や小・中・高校生を対象に、環境教育に関する講座を実施します。 ○小中学生を対象にしたポスターコンクール 小中学生の地球温暖化対策に関する意識の向上を図るため、エコネットひがしひろしまと共催し「ストップ地球温暖化」をテーマとしたポスターコンクールを実施します。 ○緑のカーテンコンテスト 家庭や事業所、店舗などで取り組まれている「緑のカーテン」を募集し、エコネットひがしひろしまと共催して優れた取組みについて表彰することにより、「緑のカーテン」活動を広めます。 ○公共施設緑のカーテン推進 市の施設に緑のカーテン資材を配布し、市民への普及啓発につなげます。 ○省エネチャレンジコンテスト 市民・事業者から省エネアイデアや省エネ達成状況を募集する「省エネチャレンジ」を開催します。電気使用量を見える化する省エネナビを貸与します。希望者には電気使用量をリアルタイムに表示する「省エネナビ」を貸与します。
2		【指導課】 環境教育・環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学等を活用し、エネルギー総合研究所等の外部人材により、環境学習を行う学校が増えました。また、総合的な学習の時間や4年生の社会科の学習を中心に東広島浄化センターへ見学に行くことで、環境水質についての学習を行い、環境の保全について理解を深めることができました。 また、「環境エネルギー教室」「Eスクール」「環境学習サポート情報」などを積極的に学校に通知することで、環境についての理解を深めるための情報を発信することができました。 		環境教育等の案内を通知し、環境教育・環境学習を積極的に推進します。
3	市	【指導課】 体験型環境教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 小学校13校(河内、河内西、久芳、三永、三津、志和堀、小谷、上黒瀬、造賀、竹仁、入野、板城西、風早)の第5学年が、3泊4日の集団宿泊を行いました。 いつもと違う生活環境の場において、見聞を広め、自然に親しむことができました。例えば、生きているアマゴを自ら調理して食べるなどの、生きるために命をいただくという体験を通して、自然環境の中で自分たちの生活が支えられていることについて理解することができました。 また、社会見学や修学旅行の校外学習を活用し、エネルギー総合研究所や東広島浄化センター等を活用し、体験型環境教育を行う学校がありました。 		<ul style="list-style-type: none"> 1 「山・海・島」体験活動において、自然観察等を行います。 今年度は、隔年実施2校を除く小学校33校、主に第5学年が3泊4日以上自然体験などの様々な体験活動を伴う集団宿泊活動事業を実施します。事業を活用して、日頃生活している環境とは異なる場所で生活することを通して、その地域のよさを感じとります。 2 修学旅行等の校外学習を活用して、体験型環境教育(自然環境、施設見学等)を行います。
4		【指導課】 環境学習モデル学校	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールエコ活動「見える化」の取り組み 小学校2校(西志和小学校、入野小学校)が、スクールエコ活動「見える化」支援事業を活用しました。 西志和小学校、入野小学校とともに、前年度と比較して、電力使用量を減らすことができました。 子どもたちに電力監視装置を活用した環境学習を行うことで、省エネを具体的な数値として捉えることができ、実感を伴った理解を図ることができました。また、理科の学習と生活の中の省エネを関連付けて考える機会もできました。 		○スクールエコ活動「見える化」支援事業は、平成26年度で終了となります。
5		【指導課】 プログラムの提供	<ul style="list-style-type: none"> 小学校や中学校と連携して、実践できるプログラム(環境教育リーフレット、リサイクル活動実践例等)の提供を行いました。 また、持続可能な社会の構築を目指すために、小学校、中学校、高等学校及び広島大学及び海外のユネスコスクールにおけるESDの実践交流を通して、地域のESDの普及・推進を図ることができました。 		<ul style="list-style-type: none"> 小学校、中学校、高等学校、大学が連携を図りながら持続可能な社会の構築を目指して、平成27年10月に、「平成27年度東広島ESD研究大会」を開催する予定です。 また、保護者と児童・生徒が家庭において実践できるプログラムを、小学校・中学校に提供していきます。
6		【環境対策課】 環境基本計画啓発ハンドブックの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○環境活動ハンドブックを見たという方のアドプトは実現できませんでしたが、各地域で行う環境活動の参考にさせていただきました。 ○えひめAI(環境浄化微生物)による、水質浄化や作物の育成促進に関する環境リーダー育成講座を2回開催しました。受講者からの評判は良く、講師の方には今後も環境リーダーとして活躍していただけたことが望めます。 ○各住民自治協議会や学校などで行われている環境保全活動について情報を収集し、それを取りまとめた「東広島市の環境活動(環境活動事例集)」を作成して、それを地域や学校へ配布しました。他地域や他校の活動を見ていただき、今後の活動の参考にさせていただいています。 	引き続き、各地域や学校で行われている、様々な環境活動の情報収集を行い、それを取りまとめて市民へ発信していきます。他地域の活動が刺激となり、各地域での環境活動の啓発につなげたいと考えています。	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度は環境活動のアドプトを目指すことに特化した冊子は作成しませんでした。情報が収集できた活動事例が増えたことから、本年度は再び作成・配布し、地域間のアドプトを目指します。 ○様々な分野での環境リーダーの育成ができるよう、住民自治協議会等地域を訪問した際に環境に関する地域の課題を聞き取り、その問題解決にふさわしい環境リーダーの紹介をします。 ○住民自治協議会等から地域で行われている環境保全活動の情報を収集し、本年度中に発行する「東広島市の環境活動(環境活動事例集)平成27年版」に掲載します。特に先進的な活動については、写真を掲載するなどして紹介し、その冊子は地域や学校へ配布します。 ○本市や広島県が持っている環境活動に使える補助制度等のリストを地域へ配布します。
7		【団体】 環境学習	<ul style="list-style-type: none"> 中黒瀬小学校4年生を対象として、川の生き物調査を行いました。 ・参加者:中黒瀬小学校4年生 		
8		【団体会員】 第13回水のグラウンドワーク(ひがしひろしま環境フェア共催)	<ul style="list-style-type: none"> 西条の水についての講習、源流探訪、きき水を行いました。 ・開催場所:憩いの森公園 ・参加者数:市内小学生と保護者、酒造関係者18名 	<ul style="list-style-type: none"> みどりの少年団、西条農業高校との調整がつかず、団体参加がありませんでした。 環境フェアの会場変更に伴い、展示参加まで手が回らなかつたので、不参加になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 第14回水のグラウンドワーク(ひがしひろしま環境フェア共催) 西条の水についての講習、源流探訪、きき水、水質浄化実験用木炭の入れ替え ・開催場所:憩いの森公園 ・参加者:東広島みどりの少年団小学4~6年生と保護者、西条農業高校生徒等
9	市民	【団体】 生命の神秘 アカテガニの産卵観察会・ホタル・シラウオの観察	<ul style="list-style-type: none"> 満月が近い夏の夜、産卵のため海岸を目指すアカテガニの集団が赤崎海岸に集まります。アカテガニの命をつなぐ自然の営みを学ぶ観察会を行いました。その他にも、ホタルやシラウオの観察会も行いました。 ・参加者:小学校児童、保護者等 		
10		【団体】 野草観察会	<ul style="list-style-type: none"> 黒瀬川沿い(ヘクト一橋~六日市橋)に生息する春の野鳥・野草の観察会を開催しました。講師には、東広島野鳥の会の新名先生ご夫妻と向田先生ご夫妻を招きました。 観察会当日は、多くの子もたちが参加してくれ、45種類もの野草、野鳥、昆虫を観察することができました。 私たちの活動に参加いただいた多くの方にまずは川に親しんでもらい、身近なところに豊かな自然が残っていることを知ってもらいたいです。また、活動の参加を通して自然に興味をもち、豊かな自然を次世代に残したいと一緒に活動してくれるメンバーの輪を広げたいと思っています。 		

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
11	市民	【団体会員】 里山見学学習	大阪博物館学芸員 田島 由起子氏を迎えて自然観察会を行いました。 ・開催場所: 志和堀 ・参加者: 5名		
12		【団体】 野鳥観察会・自然観察会	八本松町の七つ池などで、会員・一般問わず参加できる野鳥の観察会を開催しています。参加者たちは、日頃、あまり目に留めなかった野鳥を観察できたことで、地元の自然に対する関心や愛着を持つようになっています。		
13		【個人会員】 西条山と水の環境機構 第13回 水のグラウンドワーク	西条山と水の環境機構の水部門担当として講座をコーディネートし、講師も行いました。 ・開催場所: 憩いの森公園 ・参加者: 一般、西条農業高等学校生徒(10名) ・開催日: 7月26日		
14		【団体会員】 緑のカーテン講習会	・開催場所: 憩いの森公園 ・参加者: 30組		
15		【エコネットひがしひろしま】 衛生施設見学会 先進地見学ツアー	東広島市内のゴミや排水の処理などを学ぶため、3施設をめぐる見学会を開催しました。 ・開催場所: 東広島浄化センター、賀茂環境センター、賀茂環境衛生センター ・対象者: 会員、一般(約30名)		東広島市内のごみや排水の処理などを学ぶため、市内の衛生施設等をめぐる見学会を開催します。 ・開催場所: 市内衛生施設 ・対象者: 一般、会員(25名程度)
16		【エコネットひがしひろしま】 企画交流合宿	エコネット及び各会員の実施するイベント等の企画書作成作業を通じて交流を深めました。各グループに分かれて、課題を抽出しその解決策を話し合いました。 ・開催場所: 世羅の宿ひがし ・参加者: 一般、会員(15名)		エコネット及び各会員の実施するイベント等の企画書作成作業を通じて交流を深めます。 ・開催場所: 未定 ・参加者: 一般、会員(15名程度)
17		【団体】 三Mi一体竹仁エココミュニティーブ プロジェクト	毎回いろいろなテーマで講演会や学習会を開催しています。「川探検」では沼田川の生物を捕まえ、魚などを見ながら沼田川の環境について勉強し、「省エネミニ学習会」では、照明や家電の種類によって、どれくらい電気を消費するのかについて学びました。 ・参加者: 竹仁小の児童、保護者、観光客など		
18		【団体会員】 里山のくらし仕掛人養成講座 入門編	市民協働センター主催の講座に参加し、里山の活用法について学んだり、ワークショップを行ったりしました。 ・開催場所: 並滝寺、市民協働センター ・参加者: 会員3名		
19		【個人会員】 三ツ城小学校5年生総合学習	総合学習の時間に水や国際理解についての授業を行いました。 ・開催場所: 三ツ城小学校 ・参加者数: 三ツ城小学校5年生160名		総合学習の時間に水や国際理解についての授業を行います。 ・開催場所: 三ツ城小学校 ・参加者数: 三ツ城小学校5年生160名
20		【個人会員】 廿日市市玖島小学校総合学習	全校生徒対象に「私たちの服、食べ物はどこから来たの?」という世界との繋がりについて学ぶ授業を行った後、5、6年生対象に「私たちの生活とマレーシアのオランウータンの森の関係」について体験を交えて授業を行いました。 ・開催場所: 廿日市市玖島小学校 ・参加者数: 廿日市市玖島小学校全校生徒約20名		
21	【個人会員】 広島大学附属中・高等学校ESD 実習	「フェアトレード」について、模擬販売や「貿易ゲーム」を体験してもらいながら学んでもらいました。 ・開催場所: 広島大学附属中・高等学校 ・参加者数: 広島大学附属高等学校2年生 約30名			
22	事業者	【団体会員】 第13回水のグラウンドワーク(ひ がしひろしま環境フェア共催)	西条の水についての講習、源流探訪、きき水を行いました。 ・開催場所: 憩いの森公園 ・参加者数: 市内小学生と保護者、酒造関係者18名	みどりの少年団、西条農業高校との調整がつかず、団体参加がありませんでした。 環境フェアの会場変更に伴い、展示参加まで手が回らなかったため、不参加になりました。	第14回水のグラウンドワーク(ひがしひろしま環境フェア共催) 西条の水についての講習、源流探訪、きき水、水質浄化実験用木炭の入れ替え ・開催場所: 憩いの森公園 ・参加者: 東広島みどりの少年団小学4~6年生と保護者、西条農業高校生徒等
23		【団体会員】 ひろしま森づくり安全学校 東広 島市・憩いの森教室 共催(研 修会・審査会の運営協力)	①座学: 安全な作業活動について ②実技: 指さし確認、受け口づくり、追い口切り、クサビ・ロープの使用、伐倒、材の安定確認、枝払い、玉切り ・開催場所: 憩いの森公園 ・参加者数: 西条・山と水の環境機構、その他ボランティア延11人		①座学: 安全な作業活動について ②実技: 指さし確認、受け口づくり、追い口切り、クサビ・ロープの使用、伐倒、材の安定確認、枝払い、玉切り ・開催場所: 憩いの森公園 ・参加者数: 森林ボランティア初心者10人以内
24		【団体会員】 農業塾「沙羅樹楽舎」開催	環境にやさしい野菜作りなどを受講生に指導しました。		環境にやさしい野菜作りなどを受講生に指導します。

(18) 利用しやすい環境情報の整備と発信

【取り組みの方向性(目標)】

○環境情報の収集・共有

東広島市の環境に関する情報はもとより、国内外の環境情報など、環境保全活動等の参考となる各種環境情報を収集し、子供から大人まで誰もが情報を共有できるような社会を目指します。

○環境情報の発信・交流

一方通行の情報提供ではなく、互いに情報を発信し、自由にやりとりができる、双方向型の環境情報社会を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市	【環境対策課】 東広島市の環境活動作成	市内の住民自治協議会や学校などを訪問して環境活動の情報収集を行い、そこで収集できた環境活動事例を取りまとめた冊子「東広島市の環境 ～取り組みの報告編～ 平成25年版」を市のホームページに掲載したり、各住民自治協議会や学校などへ配布して、環境活動の参考にしてもらいました。	各地域などで行われている環境活動事例を、より多くの市民に知ってもらえるよう、情報公開の方法について検討していきます。	昨年度に引き続き、市内で行われた環境活動事例を取りまとめた冊子「東広島市の環境活動 平成26年版」を市のホームページに掲載したり、各住民自治協議会や学校などへ配布したりして、多くの市民の方に環境活動の参考にってもらいます。
2	市民	【エコネットひがしひろしま】 ホームページによる活動情報の発信	ホームページでは、エコネットひがしひろしま会員の活動状況などをご覧いただけます。 ウェブサイトの利便性を改善するため、定期的に会議を開催し、ホームページをリニューアルしています。		
3		【個人会員】 古民家再生プロジェクト 活動成果発表会&餅つき	茅葺き民家再生プロジェクトの1年間の活動成果を、家主さんと協力してくださった一般の方へプレゼンしました。 ・開催場所:豊栄町能良 ・参加者:学生・一般(約30名) ・開催時期:3月上旬		
4		【団体】 市民活動情報サイトの活用	東広島市が管理・運営する市民活動情報サイトに登録し、「環境eco」のページに環境に関するイベント情報の掲載や活動報告を行いました。		
5		【団体会員】 啓発	水郷水都全国広島大会で発表しました。 ・開催場所:広島大学 ・参加者数:100人		
6		【個人会員】 大学と地域のエネルギーを考える集まり	地域のエネルギー自立を目指した活動の報告や計画などの情報交換をしました。 ・開催場所:マーメイドカフェ広島大学店 ・参加者:大学教員、一般、学生(3~7人) ・開催日:毎月第一月曜日の昼休み		地域のエネルギー自立を目指した活動の報告や計画などの情報交換をします。 ・開催場所:マーメイドカフェ広島大学店 ・参加者:大学教員、一般、学生 ・開催日:毎月第一月曜日の昼休み
7		【エコネットひがしひろしま】 FM東広島「DOGENNSURU NIGHT」コーナー提供	事業者・団体会員の環境活動をFM東広島で発信することで、会員と当会をPRするとともに、リスナーへの環境啓発を目的として、全11回の10分間コーナーの提供を行いました。		

(19) 環境保全活動への参加促進と取り組みの支援

【取り組みの方向性(目標)】

○環境保全活動への参加促進の仕組みづくり

気軽に楽しく、継続的に環境保全活動に参加できるような仕組みやプログラムの充実を目指します。

○環境保全活動への支援

環境保全活動の立ち上げや、既存の活動への支援の充実を目指します。

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
1	市民	【エコネットひがしひろしま】 緑のカーテンコンテスト、ストップ地球温暖化ポスターコンクールの共催/審査	市との共催事業として、コンテスト、コンクールの審査・表彰(エコネット賞)を行いました。 ・参加者:役員等		市との共催事業として、コンテスト、コンクールの審査・表彰(エコネット賞)を行います。 ・参加者:未定
2		【エコネットひがしひろしま】 第24回生涯学習フェスティバルへの出展	加入団体がブース出展し、それぞれの活動紹介や当会への参加を呼びかけました。省エネ診断や木の実クラフト工作などと共に、パネルで活動紹介を行いました。 ・開催場所:東広島運動公園 ・対象者:一般		
3		【個人会員】 公開シンポジウム「地域におけるエネルギー自立で持続可能な発展を！」と交流会「ワインと酒とエネルギーのつどい2015～エネルギー自立の東広島に向けて～」	以下の講演を聞きました。 ・市民・地域が主役の自然エネルギー普及の仕組み 豊田 陽介(特定非営利活動法人気候ネットワーク) ・環境先進都市を目指す豊田市の取組 高部 広明(豊田市環境モデル都市推進課) ・エネルギー消費地(宝塚市)再エネ導入推進の取組 政処 剛史(宝塚市新エネルギー推進課) ・東広島市のエネルギーと環境のあした 鈴木 寛一(東広島市環境審議会会長) ・開催場所:広島大学理学部 ・参加者:一般、学生、大学教員(35人)	・組織的なシンポジウムの企画・運営ができませんでした。 ・このシンポジウムを機会に、東広島で地域のエネルギー自立を考えておられる主立った方々の間で、連絡が取れる機運が出来てきました。東広島に於いてもエネルギー自立を推進する組織を作ることが課題となりました。	○「ワインと酒とエネルギーのつどい2016～エネルギー自立の東広島に向けて～」地域のエネルギー自立を目指したシンポジウムと交流会に参加します。
4		【個人会員】 「スリランカを語らんかい」	「広島のアートレド事情と環境平和学への思い」について紹介し、参加者にワークショップで助言を行いました。 ・開催場所:広島ホームテレビ ・参加者:一般(約80名)		
5		【事業者会員】 環境フェア参加	木工作(イス作り)体験 ・開催場所:福富道の駅		

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
6	市民	【事業者会員】 教育委員会「夢、感動プロジェクト」	木工作(イス作り)体験授業 ・開催場所:志和堀小学校 ・参加者:29人		
7		【個人会員】 meec広島同窓会	3年前に開催された「みんなのエネルギー環境会議(MEEC)広島」の同窓会という名のシンポジウムで、登壇者として発言しました。 ・開催場所:東広島市中央生涯学習センター ・参加者:一般		
8		【団体会員】 環境フェア2014移動ブースに参加	町内の住民にミツバツツジの自生している場所を地図に記入してもらいました。 ・開催場所:道の駅湖畔の里 福富 ・参加者数:会員4名		
9		【エコネットひがしひろしま】 ひがしひろしま環境フェア2014	昨年に続き4回目となる「ひがしひろしま環境フェア2014」に共催参加し、実行委員会の中核として企画・運営に携わりました。併せて、エコネットひがしひろしまのブースを出展しました。 ・開催場所:道の駅 湖畔の里 福富 ・対象者:一般		〇ひがしひろしま環境フェア(共催) 生涯学習フェスティバルとの同時開催。ブース出展者を募り、それぞれの活動紹介や当会への参加を呼びかけ環境啓発を図ります。 ・開催場所:東広島運動公園 ・対象者:一般
10		【団体会員】 東広島環境フェア	ハーブの虫除け作りのブースを出展しました。		
11		【個人会員】 エコネット若者ミーティング	東広島の産官学民の若者のネットワークを作り、東広島のより活気のある街作りに貢献するために、ミーティングを開催しました。 ・開催場所:飲食店 ・参加者:東広島の産官学民の若者16名	こういった事業を行うためには、他の既存の事業に置き換えたり組み合わせたりしていかないと、時間・手・お金全てが足りなくて回らないので、今後そういった可能性を模索します。	東広島の産官学民の若者のネットワークを作り、東広島のより活気のある街作りに貢献するために、ミーティングを開催します。 ・参加者:東広島の産官学民の若者
12		【個人会員】 東広島のごみを考える会	東広島の廃棄物処理における問題点の抽出やアンケートを行った。 ・参加者:東広島のごみを考える有志		東広島の廃棄物処理における問題点を抽出し、改善策を探る。また、勉強会を開催する。 ・参加者:東広島のごみを考える有志
13		【団体会員】 つつじの里づくり始動	山の下草、低木刈り、重機による作業路、散策路の原型づくりを行いました。 ・開催場所:後谷つつじ山1号 ・対象者:会員4名と地元住民3名		
14		【団体会員】 ウッドガストーブ作りワークショップ	・開催場所:なみ滝藤原園		
15		【団体会員】 講習会の開催	主に子育て世代の女性を対象に、自分や家族が健康的な生活を送るためのLOHASセミナーを開催しました。 ・ハーブ&アロマでeco講座 ・自分のカラダに合わない食べ物がわかる講座 ・マールさんのお話会 地産池消・ゴミ・農薬・化学製品・物を大切にすることを考える暮らしをして、最終的に地球環境を考えるという行動に発展するように啓発しています。		
16		【団体】 バードウォッチング入門講座	会員が講師となり、座学とフィールドワークを通して参加者に地域の野鳥に興味や関心を持っていただけるよう講義を行いました。参加者にとっては、地域の環境に触れて、野鳥が棲みやすい環境を守っていく良い機会となりました。		
17		【団体】 生命の神秘 アカテガニの産卵観察会・ホテル・シラウオの観察会	満月が近い夏の夜、産卵のため海岸を目指すアカテガニの集団が赤崎海岸に集まります。アカテガニの命をつなぐ自然の営みを学ぶ観察会を行いました。その他にも、ホテルやシラウオの観察会も行いました。 ・参加者:小学校児童、保護者等		
18		【団体会員】 雑魚釣り大会	広島大学の中坪先生を講師に迎え、黒瀬川で雑魚釣り大会を開催しました。子供たちをはじめとした多くの地域住民に参加いただき、オイカワ、カワムツ、ブルーギルなどの魚が釣れました。この大会を通じて、大人と子供が一緒にになって、地元の黒瀬川に棲む生物を知る機会とすることができました。今後も、継続して開催し、地域住民の方が日頃はあまり知ることのできない黒瀬川の自然に触れ合う機会を増やし、環境について考える機会になればと考えています。		
19		【団体】 野草観察会	黒瀬川沿い(ヘクドー橋~六日市橋)に生息する春の野鳥・野草の観察会を開催しました。講師には、東広島野鳥の会の新名先生ご夫妻と向田先生ご夫妻を招きました。 観察会当日は、多くの子どもたちが参加してくれ、45種類もの野草、野鳥、昆虫を観察することができました。私たちの活動に参加いただいた多くの方にまずは川に親しんでもらい、身近なところに豊かな自然が残っていることを知ってもらいたいです。また、活動の参加を通して自然に興味をもち、豊かな自然を次世代に残したいと一緒に活動してくれるメンバーの輪を広げたいと思っています。		
20		【団体】 水辺教室	黒瀬町内の小学生を対象に、水辺教室を開催しました。広島大学の河合先生や公衛協のスタッフの指導のもと、参加者の方々に川に入ってもらい、黒瀬川で水生生物の採取をしたり、生物の仕分けなどを行って、地域の川に棲んでいる生き物について学んでもらいました。 参加した子供たちからは、「いっぱい魚が捕れてうれしかった」、「小さい虫について知ることができた」など川の生き物に触れ合った喜びの声が聞かれた一方で、「空き缶やお菓子の袋が捨ててあった」など、黒瀬川の悪い面にも触れ、黒瀬川の環境について考える機会となったようです。		
21		【団体】 第15回広島大学ボランティアセミナー	〇広島大学の学生を対象に、ボランティア実践・環境コースの指導、ボランティア体験を行いました。 ①除伐・運搬(小川周辺)、ボランティア体験 ②炭焼きレクチャー、窯・薪割り見学、ボランティア体験 ③除伐材のチップ化体験、レクリエーション:自然観察、龍王の名水のきき水(西条の水レクチャー) ・開催場所:東広島市憩いの森公園 ・参加者:広島大学学生 男子8、女子5 計13人(V-proメンバーを含む)		
22		【団体】 昆虫キッズあつまれ! &黒瀬川クリーン作戦	黒瀬川の土手でキリギリスの仲間をはじめとする昆虫を観察、採集しました。その後、小学校で種類を同定し、解説をしました。 ・開催場所:黒瀬川、三ツ城小学校 ・参加者:小学生とその家族		
23		【個人会員】 エコネット若者ミーティング	東広島の産官学民の若者のネットワークを作り、東広島のより活気のある街作りに貢献するために、ミーティングを開催しました。 ・開催場所:飲食店 ・参加者:東広島の産官学民の若者16名	こういった事業を行うためには、他の既存の事業に置き換えたり組み合わせたりしていかないと、時間・手・お金全てが足りなくて回らないので、今後そういった可能性を模索します。	東広島の産官学民の若者のネットワークを作り、東広島のより活気のある街作りに貢献するために、ミーティングを開催します。 ・参加者:東広島の産官学民の若者

No.	区分	実施者等	平成26年度 取り組みの実施状況	課題及び今後の方向性	平成27年度 取り組み予定
24	市民	【エコネットひがしひろしま】 夏休みの自由研究相談コーナー			夏休みの自由研究相談コーナーを他の環境啓発展示と併せて実施し、環境啓発を推進を図ります。 ・開催場所:未定 ・対象者:一般
25		【団体】 沼田川流域周辺の美観づくり	美観づくりの一環として沼田川流域の空き地を利用して、桜植樹と芝桜の植付を実施しています。また、河川沿いの草刈り作業も行っており、少しずつではありますが、環境が整ってきています。この事業を通して、自治協議会の部会会員との意思疎通が図れ、地域環境に対する意識付けが住民の間に広がっています。		
26	事業者	【事業者会員】 苗木の植樹による森林整備活動	小学生や地元住民が行う森林整備活動に参加し、植樹作業指導を行いました。 ・開催場所:西条町田口 ・参加者:郷田小学校、地元住民等 ・開催日:年間2回		
27		【事業者会員】 環境フェア参加	木工作(イス作り)体験 ・開催場所:福富道の駅		
28		【事業者会員】 教育委員会「夢、感動プロジェクト」	木工作(イス作り)体験授業 ・開催場所:志和堀小学校 ・参加者:29人		
29		【事業者会員】 苗木の植樹や間伐による森林整備活動	民間企業や地元住民が行う森林整備活動に参加し、植樹・間伐作業指導を行いました。 ・開催場所:長寿の森(八本松町吉川) ・参加者:民間企業、地元住民等 ・開催日:年間2回		民間企業や地元住民が行う森林整備活動に参加。植樹・間伐作業指導を行います。 ・開催場所:長寿の森(八本松町吉川) ・参加者:民間企業、地元住民等